

(様式第 10)

28 新大病医第 171 号
平成 28 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 (管理者) 鈴木 榮一 (印)

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法 (昭和 23 年法律第 205 号) 第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則 (昭和 23 年厚生省令第 50 号) 第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人 新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話 (025) 223 - 6161
-------------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1循環器内科 2内分泌・代謝内科 3血液内科 4腎臓内科 5呼吸器・感染症内科 6心療内科 7消化器内科 8肝臓・胆のう・膵臓内科 9腫瘍内科 10神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1消化器外科 2乳腺・内分泌外科 3呼吸器外科 4心臓血管外科 5形成・美容外科 6小児外科 7耳鼻いんこう・頭頸部外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科 2矯正歯科 3小児歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リハビリテーション科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64床	床	床	床	763床	827床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	517人	81人	538.4人	看 護 補 助 者	22人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	188人	59人	193.2人	理 学 療 法 士	12人	臨 床	70人
薬 剤 師	57人	0人	57人	作 業 療 法 士	4人	検 査	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	あん摩マッサージ指圧師	0人
助 産 師	33人	0人	33人	義 肢 装 具 士	0人	医療社会事業従事者	9人
看 護 師	799人	13人	808.3人	臨 床 工 学 士	15人	その他の技術員	6人
准 看 護 師	0人	1人	0.6人	栄 養 士	0人	事 務 職 員	154人
歯 科 衛 生 士	22人	4人	25人	歯 科 技 工 士	6人	その他の職員	85.6人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	41人		

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	42人	眼 科 専 門 医	15人
外 科 専 門 医	32人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	7人	放 射 線 科 専 門 医	20人
小 児 科 専 門 医	27人	脳 神 経 外 科 専 門 医	18人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	20人
泌 尿 器 科 専 門 医	13人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	25人	救 急 科 専 門 医	8人
		合 計	266人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (鈴木 榮一) 任命年月日 平成 25 年 4 月 1 日

平成 25 年 4 月 1 日から、医療安全推進委員会及び医療事例審議委員会の委員長である。
また、(現時点で)高難度医療及び未承認医薬品を用いた医療の実施について審議を行う委員会(名称:病院臨床倫理検討委員会)の委員長も務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	703.0人	25.2人	728.2人
1日当たり平均外来患者数	1689.1人	624.3人	2313.4人
1日当たり平均調剤数	2,705 剤		
必要医師数	173人		
必要歯科医師数	36人		
必要薬剤師数	35人		
必要(准)看護師数	443人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	233 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	8床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48 m ²	病床数	3床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	116 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403m ²	鉄筋コンクリート	臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、検体搬送ラインシステム、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、顕微鏡、試薬冷蔵庫			
細菌検査室	161m ²	鉄筋コンクリート	同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫			
病理検査室	269m ²	鉄筋コンクリート	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置			
病理解剖室	221m ²	鉄筋コンクリート	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	711m ²	鉄筋コンクリート	パソコン等			
講義室	514m ²	鉄筋コンクリート	室数	9室	収容定員	303人
図書室	101m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	蔵書数	3,800冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	76.1%	逆紹介率	56.2%
算出根拠	A：紹介患者の数	15,867人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,060人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,827人	
	D：初診の患者の数	23,226人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	115
2	筋萎縮性側索硬化症	40	57	特発性拡張型心筋症	98
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	22
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	14	60	再生不良性貧血	41
6	パーキンソン病	106	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	60
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	7
11	重症筋無力症	166	66	IgA腎症	26
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	22
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	123	68	黄色靱帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	19	69	後縦靱帯骨化症	92
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	13
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	96
17	多系統萎縮症	24	72	下垂体性ADH分泌異常症	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	74	73	下垂体性TSH分泌亢進症	5
19	ライソゾーム病	14	74	下垂体性PRL分泌亢進症	13
20	副腎白質ジストロフィー	7	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	90	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	47
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	98
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	10
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	212
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	14
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	29
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	16
34	神経線維腫症	53	89	リンパ脈管筋腫症	7
35	天疱瘡	44	90	網膜色素変性症	30
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	18	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	72
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	43	95	自己免疫性肝炎	4
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	122
42	結節性多発動脈炎	15	97	潰瘍性大腸炎	367
43	顕微鏡的多発血管炎	37	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	34	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	18	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	430	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	131	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	147	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	53	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	18	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	4	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	11	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	3

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・精神疾患診療体制加算
・歯科外来診療環境体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・歯科診療特別対応連携加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・特定機能病院入院基本料	・救命救急入院料
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・医師事務作業補助体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重傷者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・病棟薬剤業務実施加算	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・皮下連続式グルコース測定
・高度難聴指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病合併症管理料	・神経学的検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・補聴器適合検査
・外来緩和ケア管理料	・ロービジョン検査判断料
・移植後患者指導管理料	・コンタクトレンズ検査料
・糖尿病透析予防指導管理料	・内服・点滴誘発試験
・外来放射線照射診療料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・ニコチン依存症管理料	・有床義歯咀嚼機能検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・画像診断管理加算1
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影, ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影, ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・外傷全身CT加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・乳房MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・無菌製剤処理料
・遺伝カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・胎児心エコー法	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ヘッドアップティルト試験	・がん患者リハビリテーション料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・集団コミュニケーション療法料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的中心筋焼灼術
・通院・在宅精神療法	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・認知療法・認知行動療法	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・医療保護入院等診療料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・透析液水質確保加算	・大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
・手術用顕微鏡加算	・補助人工心臓
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・腹腔鏡下肝切除術
・CAD/CAM冠	・生体部分肝移植術
・歯科技工加算	・同種死体肝移植術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・同種死体腎移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・生体腎移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・膀胱水圧拡張術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・網膜再建術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・輸血管管理料 I
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・貯血式自己血輸血管管理体制加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下子宮体がん根治術	・
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	解剖例 CPC 10回/年 生検例15回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 20 例 / 剖検率 5.5 %

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児の肝移植患者におけるワクチン接種の安全性・有効性に関する研究	齋藤 昭彦	小児科	4,810,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
HPVワクチンの有効性を安全性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	62,078,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	成田 一衛	腎・膠原病内科	12,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究	菊地 利明	呼吸器・感染症 内科	10,500,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
細胞老化および加齢関連疾患におけるSGLT2阻害薬の役割に関する研究	南野 徹	循環器内科	10,557,000	補 ⑤ 田辺三菱製薬株式 会社
地域保健における歯科疾患の予防	宮崎 秀夫	予防歯科	826,000	補 ⑤ 弥彦村
超高齢化社会における疾病の予防に対応する新規医療機器の開発と国際標準化	井上 誠	口腔リハビリテー ション科	216,000	補 ⑤ 株式会社ライフ
水俣病、緑内障における中心視野機能と構造変化の関係性(クラスター化による検討)	福地 健郎	眼科	2,000,000	補 ⑤ 新潟県
心因性素因の眼振への影響に関する検討	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	2,000,000	補 ⑤ 新潟県
ロコモ患者におけるフレイルの進行に関する研究	遠藤 直人	整形外科	600,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 ⑤ 新潟県
大規模検診データベースの縦断解析エビデンスに基づく基準範囲設定と重大イベント発症確率精密予測のフィードバックによる検診要精検者の医療機関受診率向上戦略	曾根 博仁	内分泌・代謝内 科	8,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定	平野 徹	整形外科	650,000	補 ⑤ 国立大学法人東京 医科歯科大学
大学病院と関連施設における小児感染症への迅速診断法の応用	齋藤 昭彦	小児科	1,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター
大動脈ステントの性能評価研究	榛沢 和彦	呼吸器外科	1,500,000	補 ⑤ JMR株式会社
保存臍帯や他の保存検体からの効率の良いRNA抽出法の検討、および先天性感染症患者における検体採取体制の確立	齋藤 昭彦	小児科	700,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	寺井 崇二	消化器内科	5,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
細胞老化と老化関連疾患に対するリナグリプチンの効果に関する研究	南野 徹	循環器内科	5,000,000	補 ⑤ 日本バーリンガー インゲルハイム株式 会社
糖尿病大血管症一臨床マーカー	曾根 博仁	内分泌・代謝内 科	400,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター
CKD疫学調査分科会 担当 他コホート研究との連携	成田 一衛	腎・膠原病内科	500,000	補 ⑤ 国立大学法人筑波 大学
治験薬「KAG-308」の治験での病理組織標本の作製	味岡 洋一	病理部	1,150,000	補 ⑤ 科研製薬株式会社

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
①未診断腎疾患イニシヤチブの開発と整備 ②未診断腎疾患に関わる患者、診療の現状の把握 ③小児科腎領域のIRUDとの連携確立、トランジション対策の提案	成田 一衛	腎・膠原病内科	1,000,000	補 委 国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター
出産後の糖尿病・メタボリックシンドローム発症のリスク因子同定と予防介入方法に関する研究	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	156,000	補 委 国立大学法人岡山 大学
ミャンマーにおける呼吸器感染症制御へのアプローチ	阿部 理一郎	皮膚科	23,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
日本人患者の癌遺伝子変異と治療法適合性に関する研究	若井 俊文	消化器外科	13,228,000	補 委 電気化学工業株式 会社
新規ケイ酸カルシウム系歯内療法用セメントに関する研究	吉羽 邦彦	歯の診療科	575,000	補 委 日本歯科薬品株式 会社
口呼吸と口唇閉鎖力に関する臨床研究	早崎 治明	小児歯科・障がい者歯科	500,000	補 委 株式会社松風
炎症性腸疾患に伴う腸管狭窄に対するヒト脂肪由来間葉系幹細胞の効果に関する研究	寺井 崇二	消化器内科	5,500,000	補 委 株式会社インター ステム
生体機能性材料S-PRG filler に関する研究-抽出液による根尖部象牙細管の封鎖効果-	韓 臨麟	歯の診療科	500,000	補 委 株式会社松風
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)および経口内視鏡的筋層切開術(POEM)トレーニングモデルの開発	寺井 崇二	消化器内科	1,000,000	補 委 サンアロー株式 会社
咀嚼計測装置の開発に関する研究	小野 高裕	義歯診療科	1,100,000	補 委 シヤープ株式 会社
ヒト臨床検体(肝がん、すい臓がん)でのDelta-like homolog-1(DLK-1)の免疫染色	寺井 崇二	消化器内科	2,500,000	補 委 株式会社カイ オム・バイオサイ エンス
重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	阿部 理一郎	皮膚科	18,799,599	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導治験	中田 光	生命科学医療センター	194,434,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
リンパ脈管筋腫症に対するラパマイシン長期服用の効果と安全性評価のためのコホート調査	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	10,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
Er:YAGレーザーによるインプラント周囲炎に対する再生外科治療の効果について	吉江 弘正	歯周病科	2,817,500	補 委 株式会社モリタ製 作所
血小板濃縮生体材料の生物活性評価と調製法の最適化	中田 光	生命科学医療センター	400,000	補 委 一般社団法人東京 形成歯科研究会
肺癌患者におけるafatinibによる抗腫瘍免疫状態の変化に関する研究	渡部 聡	呼吸器・感染症内科	8,100,000	補 委 日本ベーリンガー インゲルハイム株 式会社
ネクロプトーシスにより発症する重症薬疹の機序解明	阿部 理一郎	皮膚科	2,990,000	補 委 独立行政法人日本 学術振興会
血管ニッチによって制御されるステムセルエイジングと加齢関連疾患発症機序の解明	南野 徹	循環器内科	22,620,000	補 委 独立行政法人日本 学術振興会
歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明	吉江 弘正	歯周病科	8,320,000	補 委 独立行政法人日本 学術振興会
口腔-腸管連関を基盤としたペリオドンタルメディスン病因論の統合的解明	山崎 和久	口腔保健学(お口の健康室)	17,030,000	補 委 独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺組織幹細胞への再分化転換機構を応用した炎症性肺炎患の新規治療法の開発	菊地 利明	呼吸器・感染症内科	3,510,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
健康科学と臨床医学を統合した日本人における生活習慣病の予防・治療のエビデンス確立	曾根 博仁	内分泌・代謝内科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミュー管由来漿液性腺癌の分子生物学的特徴の解明と新たな治療標的の同定	榎本 隆之	産科婦人科	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
立体三次元構築法を用いた末梢神経交叉移行術後における可塑性の神経再生経路の検討	柴田 実	形成・美容外科	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳歯歯髄由来ヒトiPS細胞からの歯形成細胞への分化誘導制御	齊藤 一誠	小児歯科・障がい者歯科	3,510,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型スーパー肝線維化改善細胞を用いた肝臓再生療法開発への基盤研究	寺井 崇二	消化器内科	5,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ホログenom解析によるIgA腎症の病態解析と治療ターゲット探索	成田 一衛	腎・膠原病内科	4,940,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
「心の理論」の脳基盤を介した自閉症の病態解明およびサルの子閉症モデル動物の作成	染矢 俊幸	精神科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
μオピオイドによる急性耐性、痛覚過敏の細胞内シグナル機序の解明	河野 達郎	麻酔科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発	加来 賢	冠・ブリッジ診療科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨質(コラーゲン)が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る	魚島 勝美	冠・ブリッジ診療科	4,030,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
都市部一般住民の口腔健康と動脈硬化性疾患の関係についての前向きコホート研究	小野 高裕	義歯診療科	4,810,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の発症病態解明に対する包括的検討	阿部 理一郎	皮膚科	9,360,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳放射線治療の個別最適化に向けた包括的研究	青山 英史	放射線科	4,550,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌・膵癌の転移能に關与する脂質メディエーター分子制御機構の解明および臨床応用	若井 俊文	消化器外科	6,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘッジホッグシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する	瀬尾 憲司	歯科麻酔科	4,810,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高付加価値型菌周炎ワクチン—DNAオリガミとイミダゾキノリンによるIgA誘導—	多部田 康一	歯周病科	6,370,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満・糖尿病・歯周疾患への遺伝的背景と環境・代謝要因の相互作用に対する包括的解析	葭原 明弘	口腔保健学(お口の健康室)	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘプシジンを介した心不全における貧血と鉄欠乏の機序の解明と新たな治療の検証	埜 晴雄	循環器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘパリン親和性を獲得した新規エリスロポエチンの生物学的特性と臨床応用のための検討	森山 雅人	腫瘍内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IgG4関連疾患はMALTリンパ腫の発症原因になり得る	瀧澤 淳	血液内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NK細胞療法における最適なドナー選定方法とキメラ型人工受容体発現の新技术の開発	今井 千速	小児科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
抗精神病薬誘発性糖代謝異常および体重増加に関する薬理ゲノム研究	福井 直樹	精神科	520,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
高齢者大腿骨近位部骨折の経年的推移と骨折後転帰に関する研究	遠藤 直人	整形外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
長期臨床データに基づく接着性セラミック系修復物の寿命要因の分析	福島 正義	口腔保健学(お口の健康室)	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
アパタイト形成能を有する生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化療法への展開	児玉 臨麟	歯の診療科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
胎生期ラベリング法を用いた歯髄幹細胞の局在と維持機構の解明	石川 裕子	口腔保健学(お口の健康室)	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ICT(情報通信技術)とピエゾセンサーを融合した在宅嚥下機能評価訓練システム開発	櫻井 直樹	義歯診療科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
舌骨喉頭位と嚥下機能との関連	小野 和宏	口腔保健学(お口の健康室)	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
凍結保存歯の歯根膜細胞は高い増殖能を維持できるか	小野 由起子	口腔再建外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
PCR発症リスク因子の解明とPTH(1-34)間歇投与による予防法の開発	小林 正治	口腔再建外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
臨床癌組織の遺伝子発現解析により口腔扁平上皮癌の遠隔転移の分子機構を解明する	永田 昌毅	顎顔面口腔外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
超音波診断検査を用いた顎変形症の機能的診断法の開発	福井 忠雄	矯正歯科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
乳幼児の捕食動作に関する研究	早崎 治明	小児歯科・障がい者歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
笑気吸入鎮静法とデクスメトミジン添加リドカインを併用した行動調整法	齊藤 陽子	小児歯科・障がい者歯科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
IL-10応答を中心とした歯周病原細菌感染に対する慢性炎症成立機構の基盤解明	中島 貴子	歯学教育研究開発学分野(歯科総診)	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
齶蝕関連細菌群をターゲットとした歯垢バイオフィルムの多角的解析と齶蝕予防への展開	松山 順子	小児歯科・障がい者歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化-eポートフォリオの開発	小田 陽平	口腔再建外科	520,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大腸癌の発生におけるDNA損傷修復応答の意義	味岡 洋一	病理部	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
PARK7 の非アルコール性脂肪肝炎における役割と診断的応用	高村 昌昭	消化器内科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新生児ヒトパレコウイルス3型感染症発症のメカニズム-移行抗体の役割-	齋藤 昭彦	小児科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
p62-Keap1-Nrf2 pathwayによる大腸癌抗癌剤耐性機序の解明	亀山 仁史	消化器外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
蛍光免疫組織化学を用いた大腸pSM癌における簇出の生物学的評価及びその意義	野上 仁	消化器外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌における光線力学診断を応用した化学療法効果予測法の開発	皆川 昌広	消化器外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
A role of the endocannabinoid system in a favorable recovery profile after propofol anesthesia	PETRENKO ANDREY	麻酔科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高速画像解析法による末梢神経損傷後の脊髄後角可塑性変化の解析	馬場 洋	麻酔科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器科癌におけるZFHX3/ATBF1の機能解析と分子標的治療への応用	富田 善彦	泌尿器科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合移植腎障害におけるADAMTS13、vWFと免疫学的順応	齋藤 和英	泌尿器科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
島状側頭筋移行術を用いた顔面神経麻酔再建術における神経可塑性と神経再支配機序	松田 健	形成・美容外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
整数心拍数・呼吸数変動の非線形解析によるICU入室患者の重症度と転帰の判定	遠藤 裕	救急科	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
μ CTによるエナメル質・象牙質MD定量解析シーズとなる新規ファントムの開発	坂井 幸子(林幸子)	小児歯科・障がい者歯科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
バイオフィルム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発	竹中 彰治	歯の診療科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞の移植後動態と骨再生能の解析—骨髄と脂肪組織の比較—	小島 拓	口腔再建外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発	齋藤 功	矯正歯科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用	越知 佳奈子	矯正歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を発達過程から解明する	中村 由紀	口腔リハビリテーション科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄処置にて廃棄される神経幹細胞からの神経再生の試み	澤味 規	小児歯科・障がい者歯科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児抗癌剤障害歯の長期保存の可能性—歯根障害モデルを用いた予後の解析—	三富 智恵	小児歯科・障がい者歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ソブリヌス菌の遺伝子検査法の開発	金子 昇	予防歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
歯科治療「力」体感教育システムの開発	藤井 規孝	歯学教育研究開発学分野(歯科総診)	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脂質ラフトにおける神経極性決定シグナル伝達制御機構の解明	本多 敦子	病理部	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝内免疫監視不全の回復と抗体関連型拒絶反応を応用した肝臓に対する新規治療法の開発	山際 訓	消化器内科	2,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
体外増幅自己赤芽球移植と自己骨髄単核細胞移植による血管新生治療の比較試験	小澤 拓也	循環器内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規遺伝子変異によるIgA腎症病態モデル解析	後藤 眞	腎・膠原病内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
免疫チェックポイント分子を標的とするキメラ抗原受容体遺伝子導入T細胞の新規開発	今村 勝	小児科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
統合失調症多発罹患者系エクソーム解析を起点とするリスク遺伝子確定と死後脳発現解析	布川 綾子	精神科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
注意欠如・多動症の脳磁図研究一病態解明から臨床検査へ	北村 秀明	精神科	3,250,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大腸癌薬物療法抵抗性の分子機構における転写メディエーターMED12異常発現の解明	島田 能史	消化器外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
オートファジーによる胸部外科疾患の病態の理解と制御	土田 正則	呼吸器外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
リドカイン代謝産物の鎮痛機序の解明と鎮痛薬としての可能性	古谷 健太	麻酔科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析と個別化治療	福地 健郎	眼科	4,160,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
体幹角度と食事姿勢が咀嚼時下顎・頭部運動に及ぼす影響一高齢者の快適な食事のために	佐藤 直子(五十嵐直子)	義歯診療科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価～咽頭残留に影響する因子～	堀 一浩	義歯診療科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
より均一な口腔粘膜上皮前駆/幹細胞による凍結培養粘膜の開発	小山 貴寛	顎顔面口腔外科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
三叉神経神経障害性疼痛におけるマクロファージサブタイプin vivoイメージング	照光 真	麻酔科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規サイトカインIL-17Cから歯周炎病態形成メカニズムを探る	伊藤 晴江	歯周病科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
エネルギー代謝調節遺伝子UCPの閉経後女性歯周炎・糖尿病・肥満・骨粗鬆症への関与	杉田 典子	歯周病科	3,250,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔機能改善と平衡機能を含む運動器機能改善に関する無作為化比較試験	宮崎 秀夫	予防歯科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
NK細胞に3種のシグナルを同時に伝達する第3世代キメラ型人工受容体の新規開発	吉田 咲子	小児科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップ可塑性の研究	窪田 和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
実験的根尖性歯周炎における血管新生関連因子の局在および遺伝子発現解析	山中 裕介	歯の診療科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯科用コーンビームCTにおける指標となる骨密度測定用ファントムの開発	青柳 裕仁	冠・ブリッジ診療科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔粘膜上皮内癌における粘膜固有層の癌間質としての機能解明	船山 昭典	口腔再建外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ヒト神経障害性疼痛に神経炎症はあるのか？-in vivo神経イメージングでの検討	倉田 行伸	麻酔科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用	丹原 惇	矯正歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト悪性腫瘍を対象としたリボソーム遺伝子変異解析	大橋 瑠子	病理部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新規ハイドロダイナミック遺伝子導入システムによる遺伝子治療の前臨床研究	上村 顕也	消化器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗MICA抗体による抗体関連型拒絶反応を応用した肝細胞癌に対する新規治療法の開発	上村 博輝	消化器内科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性辺縁系脳炎との関連から治療抵抗性統合失調症の病態解明と治療の確立に迫る	斎藤 摩美	精神科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
移植ドナー肺における常温生体外肺還流中のストレス負荷による新しい肺評価法の探求	小池 輝元	呼吸器外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
嗅神経細胞再生におけるPSD-95(Dlg4)の役割の解析	石岡 孝二郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
メカニカルストレスを利用した高機能化歯根膜細胞シートの開発	加来 咲子	歯学教育研究開発学分野(歯科総診)	130,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
血管の早期新生によって移植細胞の生着を促進する骨増成法の開発	Rosales Marcelo	冠・ブリッジ診療科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新規イオンチャンネルTRPV1が歯周炎病態形成に及ぼす影響	高橋 直紀	歯周病科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
初期成年期及び成年期の歯の喪失に影響を与える要因の解析と歯科保健プログラムの構築	米澤 大輔	福祉学(お口の健康室)	390,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
舌機能障害が嚥下に及ぼす影響	辻村 恭憲	口腔リハビリテーション科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
毛髪の角化機構の解明	藤川 大基	皮膚科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症罹患同胞対のエクソーム解析を基盤としたリスク変異の確定	保谷 智史	精神科	2,990,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肺扁平上皮癌におけるグルタミン代謝依存性の解析と治療法の開発	佐藤 征二郎	呼吸器外科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
摂食嚥下障害の評価へ向けた超音波検査による顎口腔領域サルコペニア指標の確立	池 真樹子	歯科放射線科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄細胞の機能を介した局所の破骨細胞分化制御機構の探索	長澤 麻沙子	冠・ブリッジ診療科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
3次元口腔粘膜モデルを用いた分子・細胞レベルでの義歯床下骨吸収メカニズムの検証	塩見 晶	歯学教育研究開発学分野(歯科総診)	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼嚥下動態評価による安全な介護食の開発	藤原 茂弘	義歯診療科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害の脳内ネットワークによる類型化および療育のオーダーメイド化	染矢 俊幸	精神科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト嚥下反射誘発および高次機能評価システムの構築	井上 誠	口腔リハビリテーション科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
健康食品と既存の医薬品併用による骨代謝改善の可能性	魚島 勝美	冠・ブリッジ診療科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢神経損傷による骨破壊現象の物質基盤の解明	瀬尾 憲司	歯科麻酔科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎臓病患者におけるiPS細胞由来腎糸球体上皮細胞の機能解析と病態解明	成田 一衛	腎・膠原病内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)における脳転移関連分子の同定	関根 正幸	産科婦人科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病患者の嚥下障害定量評価システムの構築	小野 高裕	義歯診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
xeno-freeヒトiPS細胞樹立のための高機能歯髄由来feeder細胞の開発	齊藤 一誠	小児歯科・障がい者歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
移植治療用細胞の遺伝的不安定性の指標となるマーカーの探索	奥田 一博	歯周病科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
実験老化モデルを基盤とした加齢関連因子の臨床的検証	南野 徹	循環器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト誘導性細気管支前駆細胞(iBP細胞)の創製	菊地 利明	呼吸器・感染症内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚盤胞補完法を用いたin vivo肺再生	西條 康夫	腫瘍内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
角化におけるミトコンドリアの役割	阿部 理一郎	皮膚科	3,640,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
毛髪特異的なCreマウスの作製	下村 裕	皮膚科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳、脊髄でのアセトアミノフェンの機序解明と最適な使用法の検討	河野 達郎	麻酔科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍内不均一性に基づいた抗がん剤耐性機構の打破	榎本 隆之	産科婦人科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌エコーで舌初期癌の治療戦略を変える	林 孝文	歯科放射線科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
幹細胞の分化制御を指向した高架橋コラーゲン・スキヤフォールドの開発	加来 賢	冠・ブリッジ診療科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病態可視化マウスを用いた新規歯周病病因論の探索	山崎 和久	口腔保健学(お口の健康室)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リウマチ併発歯周炎患者のJAK分子標的・抗菌療法と機能検証	吉江 弘正	歯周病科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
介護保険施設における口腔機能維持管理と栄養管理との連携による社会経済効果分析	大内 章嗣	福祉学(お口の健康室)	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周病原細菌感染の関節リウマチ自己免疫応答に与える影響に関する研究	岡田 萌	歯周病科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嚥下反射を修飾する咽頭・喉頭感覚の検討	高辻 華子	矯正歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	下村 裕	皮膚科	450,000	補 委	厚生労働省
皮膚の遺伝関連性稀少難治性疾患群の網羅的研究	下村 裕	皮膚科	1,200,000	補 委	厚生労働省
小児期発症の稀少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	窪田 正幸	小児外科	120,000	補 委	厚生労働省
小児期からの稀少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	窪田 正幸	小児外科	100,000	補 委	厚生労働省
先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄腔遺残、総排泄腔外販、MRKH症候群)におけるスムーズな成	窪田 正幸	小児外科	17,224,000	補 委	厚生労働省
難治性腎疾患に関する調査研究	成田 一衛	腎・膠原病内科	500,000	補 委	厚生労働省
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	遠藤 直人	整形外科	300,000	補 委	厚生労働省
遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	渡部 裕	循環器内科	150,000	補 委	厚生労働省
子宮頸がんワクチンの有効性と安全性の評価に関する疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	1,000,000	補 委	厚生労働省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	阿部 理一郎	皮膚科	735,000	補 委	厚生労働省
次世代シーケンサーによる肺胞蛋白症重症化の分子機構の解明	中田 光	生命科学医療センター	9,360,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
3次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスペーサーの線量分布への影響の解明	勝良 剛詞	歯科放射線科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
血管安定化タンパクAng1を介した脳梗塞の血管保護療法確立に関する研究	高橋 哲哉	神経内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高機能シミュレーターによる新しい新生児蘇生教育プログラムの開発	和田 雅樹	魚沼地域医療教育センター	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
NASHの病態におけるNrf2とミトコンドリア異常の関与メカニズムの解明	川合 弘一	消化器内科	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心不全における臨床的カルシウム過負荷の評価	柏村 健	循環器内科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎に伴う難治性急速進行性間質性肺炎における抗CADM-140抗体の役割	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
吸入GM-CSFは肺胞蛋白症病変をどのように改善するか	田澤 立之	生命科学医療センター	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗インターフェロンγ自己抗体の臨床的意義-新たな後天性免疫不全の概念として-	長谷川 隆志	医科総合診療部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
M2型マクロファージを介した慢性腎疾患(CKD)進展機序の解明と制御法の確立	池住 洋平	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症罹患同胞対・両親の全エクソン解析に基づく稀なりスク変異の同定	渡部 雄一郎	魚沼地域医療教育センター	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
慢性膵炎に対する自家膵島移植を併用した膵切除に関する研究	小林 隆	小児外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
先進的三次元工学技術を基盤とした 微小解剖ライブラリーを完成させる	高尾 哲郎	高次救命災害治 療センター(脳 外)	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨軟部肉腫における腫瘍特異的融合 遺伝子を標的とした血中循環微量腫 瘍細胞の検出	堀田 哲夫	手術部	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
一酸化炭素中毒治療標準化のための 新規MRI技術を用いた遅発性脳症発 症要因の解明	寺島 健史	魚沼地域医療教 育センター	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯髄創傷治癒・再生のためのα-SMA 陽性線維芽細胞を軸とした多角的ア プローチ	吉羽 永子	歯の診療科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
機能性食品による骨強化作用の生物 学的検討～骨粗鬆症患者へのイン プラント治療～	秋葉 奈美	冠・ブリッジ診療 科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
在宅診療にも応用できる、難症例に対 する簡便な全部床義歯製作システムの 確立	金田 恒	義歯診療科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
舌神経断裂後の味覚受容機構の回復 過程の解析	吉川 博之	歯科麻酔科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
障害に応じた歯科対応法の確立～ 心身障害児の心理的ストレス定量化を 通して～	佐野 富子	小児歯科・障が い者歯科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口蓋裂患者に対する上顎前方移動術 後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価シ ステムの確立	朝日藤 寿一	矯正歯科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ドライシンドロームの有症率および原因 探索に関する研究	伊藤 加代子	口腔リハビリテー ション科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨格筋由来生理活性因子(マイオカ イン)BDNFによる肥満・糖尿病の予防・ 治療	羽入 修	内分泌・代謝内 科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規骨粗鬆症治療薬デノスマブによる 冠動脈石灰化抑制効果の検討	廣野 暁	魚沼地域医療教 育センター	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
オンラインによる元素分析受付シス テムの確立	森山 寛史	呼吸器・感染症 内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肺MAC症の重症化・致死化と鉄代謝 異常との関連～新規治療法の開発に 向けて	茂呂 寛	検査部	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
顆粒球系細胞をターゲットとした中枢 神経系脱髄疾患の疾患制御と生物学 的意義の解明	河内 泉	神経内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
単純型統合失調症をプロトタイプとし た青年期認知機能障害の病態解明と治 療法の確立	鈴木 雄太郎	精神科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
児童・思春期ADHD治療薬誘発性QT 延長症候群発症予測マーカーの探索	須貝 拓朗	精神科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
消化管間質腫瘍の発生部位と予後に 関わる遺伝子の解析	石川 卓	医療情報部(消 外)	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
食道癌術前補助化学療法抵抗性の分 子機構における酸化ストレス系シグ ナル異常の解明	小杉 伸一	魚沼地域医療教 育センター	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
膵癌におけるBudding cancer cellの 新たな生物学的評価法の確立	滝沢 一泰	消化器外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脊髄前角運動ニューロンにおける麻酔薬の作用と神経保護効果の検討	本田 博之	集中治療部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
加齢性難聴発症の病態解明—脳血管障害との関係についての研究	森田 由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
μCTによるエナメル質・象牙質MD定量解析シーズとなる新規ファントムの開発	坂井 幸子(林幸子)	小児歯科・障がい者歯科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
多機能性エピジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ	秋葉 陽介	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
培養骨膜細胞が再生骨にもたらす骨代謝促進の3D-CT精密画像解析による質的検出	星名 秀行	インプラント治療部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔粘膜上皮前駆／幹細胞による粘膜再生機構の解明—血管新生の意義—	芳澤 享子	口腔再建外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
意図的歯根切除と抗菌性薬剤が歯の再植後の歯髄・歯根膜治癒過程に及ぼす影響について	大島 邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
シトルリン化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症メカニズムの解明	小林 哲夫	歯科総合診療部	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
スケーリング後の菌血症が生体応答に及ぼす影響と光エネルギー応用の効果	両角 俊哉	歯周病科	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
自発性異常味覚の評価にマグネシウムは応用できるか？	船山 さおり	予防歯科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価の臨床応用	木村 慎二	総合リハビリテーションセンター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
糖鎖の制御による炎症性腸疾患の粘膜治癒促進治療	鈴木 健司	消化器内科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肝幹前駆細胞マーカー陽性肝細胞癌の生物学的悪性度を規定する因子の解明	土屋 淳紀	消化器内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
高齢心不全患者の歩行機能と筋機能に関する研究	小幡 裕明	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
生理的凝固阻止因子および炎症・老化の抗凝固療法に与える影響の解明	和泉 大輔	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規血管老化関連分子による老化制御メカニズムの解明	須田 将吉	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
化学療法後の免疫再構成を利用した進行期肺癌に対する新規免疫療法の開発	渡部 聡	呼吸器・感染症内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
蛋白結合尿毒素物質のHDL機能への作用と治療—腎臓病による動脈硬化を予防する—	山本 卓	腎・膠原病内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
小児バセドウ病に対するコレステロール吸収阻害剤併用療法の多施設ランダム化比較試験	長崎 啓祐	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
胃癌の浸潤・転移能に関与する脂質メダイエーター分子制御機構の解明および臨床的意義	羽入 隆晃	物流センター(消外)	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
小児脳幹グリオーマの新規治療法開発:ラットモデルによる脳幹部へのCED法の研究	吉村 淳一	脳神経外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
CDK4を標的とした骨軟部腫瘍の新規治療法の開発	生越 章	魚沼地域医療教育センター	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エダラボンによる脊髄損傷の新規治療法の開発	石井 秀明	麻酔科	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミュー管由来類内膜腺癌の分子生物学的特徴解明と発生起源鑑別法の確立	山口 雅幸	総合周産期母子医療センター(産科)	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カテゴリー知覚を用いた聴覚時間分解能検査器の開発	相澤 直孝	魚沼地域医療教育センター	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液腺腫瘍の低酸素レベル細胞外環境におけるエネルギー代謝調節機構	丸山 智	顎顔面口腔外科(病理)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者における非生理的咬耗の治療基準策定のための象牙質損耗量の測定と治療予後評価	石崎 裕子	歯科総合診療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自家ラット臼歯歯髄幹細胞を用いた歯髄組織再生法の確立	金子 友厚	歯の診療科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科用CBCT像上の顎骨と頸椎の骨梁構造変化を指標とした新規骨粗鬆症診断法の開発	田中 みか子	義歯診療科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
p53ノックアウトマウス人工授精凍結胚を用いた口蓋裂発生メカニズムの解析	児玉 泰光	顎顔面口腔外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上顎骨移動術が鼻腔形態ならびに鼻腔通気度に及ぼす影響を解明する	長谷 部大地	口腔再建外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
mTOR阻害剤による口内炎の発症機序の解明	北村 信隆	プロトコールデータセンター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型標的遺伝子破壊法CRISPR/Cas9システムの歯学領域への応用	鹿兒島 暁子	小児歯科・障がい者歯科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎組織中におけるアルツハイマー病原因分子のネットワーク解析	久保田 健彦	歯周病科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補綴物を含めた咬合が冠動脈性心疾患・脳血管疾患の発症および原因死に与える影響	山賀 孝之	予防歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質メタボーターを介した癌と宿主の相互作用による乳癌の浸潤・転移機序の解明	永橋 昌幸	消化器外科	10,660,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸膜中皮腫における新規バイオマーカーの検討と早期診断への臨床応用	岡島 正明	総合臨床研修センター(呼感)	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージングによる両耳分離補聴の検討	大島 伸介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
「周波数選択性」とAuditory Neuropathyにおける語音聴取能低下	泉 修司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
実験的歯髄炎におけるトランスポーターを介したプロスタグランジンE2輸送機構の解析	大倉 直人	歯の診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抜歯窩の骨の治癒に影響する骨代謝因子の解明 -インプラント植立時期の指標策定へ-	三上 絵美	義歯診療科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波診断装置を用いた咀嚼筋の硬さの定量的評価方法の確立	高嶋 真樹子	顎関節治療部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NK細胞へのIL-21遺伝子導入: 新たな細胞療法の開発	高地 貴行	小児科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ポリノスタットによるオートファジー誘導とMGMT抑制効果に関する研究	小倉 良介	脳神経外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
脊髄後角における神経ステロイドによる痛覚伝達制御の解明	山本 豪	麻酔科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
麻薬性鎮痛薬の急性耐性における5-HT3受容体の関与メカニズムの解明	種岡 美紀	麻酔科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
経角膜電気刺激治療の他覚的および定量的治療評価方法の確立	畑瀬 哲尚	眼科	260,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
エピジェネティクスから探る口唇・口蓋の発生分子機構	川崎 真依子	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
在宅療養患者の咀嚼機能向上に寄与する, 食支援のための簡便な食事姿勢探索法の確立	昆 はるか	義歯診療科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
咽頭電気刺激の嚥下誘発効果と神経・筋機構の解明	真柄 仁	摂食・嚥下機能回復部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔粘膜で癌特性を司るケラチン17: mTORシグナル経路を介した発癌機構の解析	三上 俊彦	口腔再建外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
p53ノックアウト口唇口蓋裂感受性マウスを用いた口蓋裂発生メカニズムの解明	西川 敦	顎顔面口腔外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
薬剤性歯肉増殖症における病態ネットワーク解析	清水 太郎	インプラント治療部	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
二段階口蓋形成法における早期硬口蓋閉鎖の有用性: 音声言語と音響特性による言語成績	大湊 麗	言語治療室	3,120,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
難治性不整脈症候群におけるゲノム上の非翻訳領域の役割と機序の解明	八木原 伸江	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
慢性期脳梗塞治療戦略としてのマイクログリア細胞移植療法の確立	金澤 雅人	神経内科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
SOCS1/3欠失マウスで増加する特異なT細胞分画が移植片対宿主病に及ぼす役割	牛木 隆志	生命科学医療センター	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
関節リウマチにおけるhepcidinの動態と骨粗鬆症に関する臨床的解析	佐藤 弘恵	腎・膠原病内科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
シクロスボリン腎症の病態解明と早期診断を目的としたバイオマーカーの開発	山田 剛史	小児科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
毛包内毛根鞘の分化におけるkeratin71の役割の解明	藤本 篤	皮膚科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
拡張不確かさ解析を用いたセットアップマージン評価モデル及び照合データベースの開発	棚邊 哲史	放射線科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
てんかん焦点同定のための高精度術前評価法の開発-高密度脳波での高周波律動の解析-	平石 哲也	脳神経外科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
脊髄前角運動ニューロンに対する活性酸素の作用機序解明と新規脊髄保護療法の開発	大橋 正幸	整形外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いた疼痛評価系の確立	渡部 達範	麻酔科	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
腎血管内皮細胞と赤血球における血液型糖鎖抗原の特異性の解析と移植への応用	田崎 正行	泌尿器科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
前立腺組織内アンドロゲン環境の変化に適応したアンドロゲン受容体活性化機構の解明	瀧澤 逸大	泌尿器科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
卵巣がん・子宮体がん幹細胞のがん腫特異的制御機構の解明	石黒 竜也	総合周産期母子 医療センター(産 科)	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ホールマウント標本による末梢神経再生の観察	親松 宏	形成・美容外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤界面における細胞競合現象のプロテオーム解析	阿部 達也	病理検査室	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
加熱による非侵襲的なデンタルインプラント除去法の確立	河村 篤志	顎関節治療部	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
培養骨膜細胞による骨代謝活性促進効果の臨床的有効性の検証	小川 信	インプラント治療 部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯周病原細菌感染に対するビタミンDによる新規の予防・治療効果の検討	野中 由香莉	歯周病科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発現機序の解明	大竹 正紀	矯正歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
メタボリックシンドローム有病者における歯周病と認知症の関連	皆川 久美子	予防歯科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肺胞蛋白症の発症機序を説明する数学モデルの構築とその検証	中田 光	生命科学医療セ ンター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
メタボローム解析による乳癌代謝動態に關与する脂質メディエーター分子機構の解明	永橋 昌幸	消化器外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
カルシウム感受性蛍光タンパクを用いたスライス及びin vivo脊髄イメージング	紙谷 義孝	魚沼地域医療教 育センター	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
多血小板フィブリンによるヒト培養骨膜シートの骨再生促進効果の検討	堀水 慎	歯周病科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
うつ病モデルラットを用いた疼痛性障害発症の解明	高橋 功次朗	矯正歯科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯周病原細菌による腸管dysbiosisと動脈硬化との関連解明	宮沢 春菜	歯周病科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
TDP-43異常を伴うALS病態モデルの確立	須貝 章弘	魚沼地域医療教 育センター	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
抗菌成分作用後のストレス反応によるバイオフィーム再形成促進因子の解明	大墨 竜也	歯の診療科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨膜シートの骨髄細胞局所誘導能の増強は骨再生効果の飛躍的向上につながる	上松 晃也	顎顔面口腔外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
血管内皮増殖因子は末梢神経損傷後の神経再生に關与するか	金丸 博子(塚 田博子)	歯科麻酔科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件
計294件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
-------	-------	------	----	----------

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Shimizu I, Yoshida Y, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Division of Molecular Aging and Cell Biology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Pathological role of adipose tissue dysfunction in cardio-metabolic disorders.	Int Heart J 2015; 56: 255-259.
2	Shimizu I, Walsh K.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Division of Molecular Aging and Cell Biology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Whitening of brown fat and implications for weight management in obesity.	Curr Obes Rep 2015; 4: 224-229
3	Yoshida Y, Shimizu I, Katsuami G, Jiao S, Suda M, Hayashi Y, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Division of Molecular Aging and Cell Biology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	p53-induced inflammation exacerbates cardiac dysfunction during pressure overload.	J Mol Cell Cardiol 2015; 85: 183-198.
4	Yoshida Y, Shimizu I, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Division of Molecular Aging and Cell Biology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The pathological role of adipose tissue aging in the progression of systemic insulin resistance.	Inflammation and regeneration 2015; 35: 178-184.
5	Shimizu I, Yoshida Y, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Division of Molecular Aging and Cell Biology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Maintenance of subcutaneous fat homeostasis improves systemic metabolic dysfunction in obesity.	Diabetes 2015; 64: 3984-3986
6	Nagao S, Watanabe H, Sobue Y, Kodama M, Tanaka J, Tanabe N, Suzuki E, Narita I, Watanabe E, Aizawa Y, Minamino T.	Division of Cardiology, Niigata University Hospital	Electrocardiographic abnormalities and risk of developing cardiac events in extracardiac sarcoidosis.	Int J Cardiol 2015; 189: 1-5.

小計6件

7	Iijima K, Chinushi M, Saitoh O, Hasegawa K, Sonoda K, Yagihara N, Sato A, Izumi D, Watanabe H, Furushima H, Aizawa Y, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Frequency characteristics and associations with the defibrillation threshold of ventricular fibrillation in patients with implantable cardioverter defibrillators.	Intern Med 2015; 54: 1175-1182
8	Watanabe T, Kashimura T, Obata H, Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Cibenzoline Abolished Pulsus Alternans in a HOCM Patient.	Intern med 2015; 54: 2273
9	Ohno Y, Hanawa H, Jiao S, Hayashi Y, Yoshida K, Suzuki T, Kashimura T, Obata H, Tanaka K, Watanabe T and Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Liver congestion in heart failure contributes to inappropriately increased serum hepcidin despite anemia.	Tohoku J Exp Med 2015; 235: 69-79.
10	Hayashi Y, Hanawa H, Jiao S, Hasegawa G, Ohno Y, Yoshida K, Suzuki T, Kashimura T, Obata H, Tanaka K, Watanabe T and Minamino T.	Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Elevated Endomyocardial Biopsy Macrophage-Related Markers in Intractable Myocardial Diseases.	Inflammation 2015; 38: 2288-2299.
11	Fujihara, Kazuya; Hanyu, Osamu; Heianza, Yoriko; et al.	Niigata University Faculty of Medicine	Comparison of clinical characteristics in patients with type2 diabetes among whom different antihyperglycemic agents were prescribed as monotherapy or combination therapy by diabetes specialists.	J Diabet Invest. 7(2):260-9, 2016
12	Heianza Y, Hara S, Saito K, Tsuji H, Tanaka S, Kodama S, Kobayashi T, Arase Y, Sone H.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Assessment of Kidney Dysfunction with Cystatin C- and Creatinine-based Estimated Glomerular Filtration Rate and Predicting Type 2 Diabetes: Toranomon Hospital Health Management Center Study 21.	Diabetes Res Clin Pract. 2016 Mar;113:60-8.
13	Kawamoto K, Miyoshi H, Yoshida N, Nakamura N, Ohshima K, Sone H, Takizawa J.	Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, Niigata University	MYC translocation and/or BCL2 protein expression are associated with poor prognosis in diffuse large B-cell lymphoma.	Cancer Sci. 2016 Jun;107(6):853-61.

小計7件

14	Sone H, Nakagami T, Nishimura R, et al.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Comparison of lipid parameters to predict cardiovascular events in Japanese mild-to-moderate hypercholesterolemic patients with and without type 2 diabetes: Subanalysis of MEGA study	Diabetes Res Clin Pract. 113:14-22, 2016
15	Ishiguro H, Kodama S, Horikawa C, Fujihara K, Hirose AS, Hirasawa R, Yachi Y, Ohara N, Shimano H, Hanyu O, Sone H.	Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, Niigata University	In Search of the Ideal Resistance Training Program to Improve Glycemic Control and its Indication for Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Sports Med. 46(1):67-77, 2016
16	Kodama S, Fujihara K, Ishiguro H, Horikawa C, Ohara N, Yachi Y, Tanaka S, Shimano H, Kato K, Hanyu O, Sone H.	Department of Laboratory Medicine and Clinical Epidemiology for Prevention of Noncommunicable Diseases, Niigata University Faculty of Medicine	Meta-analytic research on the relationship between cumulative risk alleles and risk of type 2 diabetes mellitus.	Diabet Metab Res Rev. 32:178-86, 2106
17	Fujihara K, Hanyu O, Heianza Y, Suzuki A, Yamada T, Yokoyama H, Tanaka S, Yagyu H, Shimano H, Kashiwagi A, Yamazaki K, Kawai K, Sone H.	Niigata University Faculty of Medicine	Comparison of clinical characteristics in patients with type 2 diabetes among whom different antihyperglycemic agents were prescribed as monotherapy or combination therapy by diabetes specialists (JDDM 35)	J Diabetes Investig. 2016 Mar;7(2):260-9.
18	Kawamoto K, Shibasaki Y, Sato S, Nemoto H, Takizawa J, Narita M, Tsuchida M, Sone H, Masuko M.	Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, Niigata University	Fatal tracheal aspergillosis during rituximab combined chemotherapy for diffuse large B-cell lymphoma that developed after lung transplantation.	Transpl Infect Dis. 17: 872-5, 2015
19	Shibasaki Y, Seki Y, Tanaka T, Miyakoshi S, Fuse K, Kozakai T, Kobayashi H, Ushiki T, Abe T, Yano T, Moriyama M, Kuroha T, Isahai N, Takizawa J, Narita M, Koyama S, Furukawa T, Sone H, Masuko M.	Department of Stem Cell Transplantation, Niigata University Medical and Dental Hospital	The association of level of reduction of Wilms' tumor gene 1 mRNA transcript in bone marrow and outcome in acute myeloid leukemia patients.	Leuk Res. 39(6):667-71, 2015

小計6件

20	Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Tsuji H, Tanaka S, Saito K, Hara S, Sone H.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Trajectory of Body Mass Index Before the Development of Type 2 Diabetes in Japanese Men: Toranomon Hospital Health Management Center Study 15 (TOPICS 15)	J Diabet Invest. 6(3):289-94, 2015
21	Heianza Y, Kato K, Kodama S, Ohara N, Suzuki A, Tanaka S, Hanyu O, Sato K, Sone H.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Risk of the Development of Type 2 Diabetes in Relation to Overall Obesity, Abdominal Obesity and the Clustering of Metabolic Abnormalities in Japanese Individuals—Does Metabolically Healthy Overweight Really Exist?: Niigata Wellness Study.	Diabet Med. 32(5):665-72, 2015
22	Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Hsieh SD, Tsuji H, Saito K, Hara S, Sone H.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Fasting glucose and HbA1c levels as risk factors for the development of hypertension in Japanese individuals: Toranomon hospital health management center study 16 (TOPICS 16).	J Hum Hypertens. 29(4):254-9, 2015
23	Fujihara K, Suzuki H, Sato A, Kodama S, Heianza Y, Saito K, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Yahagi N, Yagyu H, Sone H, Shimano H.	Niigata University Faculty of Medicine	Circulating malondialdehyde-modified LDL-related variables and coronary artery stenosis in asymptomatic patients with type 2 diabetes.	J Diabet Res. 507245, 2015
24	Fuse K, Matsuyama Y, Moriyama M, Miyakoshi S, Shibasaki Y, Takizawa J, Furukawa T, Fuse I, Matsumura H, Uchida S, Takahashi Y, Kamimura K, Abe H, Suda T, Aoyagi Y, Sone H, Masuko M.	Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism Niigata University Faculty of Medicine	Late Onset Post-Transfusion Hepatitis E Developing during Chemotherapy for Acute Promyelocytic Leukemia.	Intern Med. 54(6):657-61, 2015
25	Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Tsuji H, Fujihara K, Saito K, Hara S, Sone H.	Department of Internal Medicine, Niigata University Faculty of Medicine	Simple Self-Reported Behavioral or Psychological Characteristics as Risk Factors for Future Type 2 Diabetes in Japanese Individuals: Toranomon Hospital Health Management Center Study 14.	J Diabet Invest. 6(2):236-41, 2015

小計6件

26	Hirofumi Watanabe, Shin Goto, Akinori Miyashita, Hiroki Maruyama, Minako Wakasugi, Akio Yokoseki, Ryozo Kuwano, Ichiei Narita	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Role of the p.E66Q variant of GLA in the progression of chronic kidney disease	Clinical and Experimental Nephrology 19(2): 225-230, 2015
27	Hiroe Sato, Miho Onozuka, Akiko Hagiya, Shiho Hoshino, Ichiei Narita, Toshio Uchiumi	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Characterization of anti-P monoclonal antibodies directed against the ribosomal protein-RNA complex antigen and produced using Murphy Roths large autoimmune-prone mice	Clinical & Experimental Immunology 179(2): 236-244, 2015
28	Minako Wakasugi, Koji Matsuo, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita	Center for Inter-organ Communication Research, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata	Higher mortality due to intracerebral hemorrhage in dialysis patients: a comparison with the general population in Japan	Therapeutic Apheresis and Dialysis 19(1): 45-49, 2015
29	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita	Center for Inter-organ Communication Research, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata	Anticipated increase in the number of patients who require dialysis treatment among the aging population of Japan	Therapeutic Apheresis and Dialysis 19(3): 201-206, 2015
30	Atsushi Eino, Shun Kageyama, Takefumi Uemura, Hiromichi Annoh, Tetsuya Saito, Ichiei Narita, Satoshi Waguri, Masaaki Komatsu	Department of Biochemistry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Sqstm1-GFP knock-in mice reveal dynamic actions of Sqstm1 during autophagy and under stress conditions in living cells	Journal of Cell Science 128(23): 4453-4461, 2015
31	Suguru Yamamoto, Junichiro James Kazama, Kentaro Omori, Koji Matsuo, Yoshimitsu Takahashi, Kazuko Kawamura, Takayuki Matsuto, Hiroshi Watanabe, Toru Maruyama, Ichiei Narita	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Continuous Reduction of Protein-Bound Uraemic Toxins with Improved Oxidative Stress by Using the Oral Charcoal Adsorbent AST-120 in Haemodialysis Patients	Scientific Reports 23(5): 14381, 2015
32	Koji Matsuo, Suguru Yamamoto, Takuya Wakamatsu, Yoshimitsu Takahashi, Kazuko Kawamura, Yoshikatsu Kaneko, Shin Goto, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Increased Proinflammatory Cytokine Production and Decreased Cholesterol Efflux Due to Downregulation of ABCG1 in Macrophages Exposed to Indoxyl Sulfate	Toxins 7(8): 3155-3166, 2015

小計7件

33	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita	Center for Inter-organ Communication Research, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Associations between the intake of miso soup and Japanese pickles and the estimated 24-hour urinary sodium excretion: a population-based cross- sectional study	Internal Medicine 54(8): 903- 910, 2015
34	Suguru Yamamoto, Ryo Kido, Yoshihiro Onishi, Shingo Fukuma, Tadao Akizawa, Masafumi Fukagawa, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita, Shunichi Fukuhara	Department of Clinical Nephroscience, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Use of renin-angiotensin system inhibitors is associated with reduction of fracture risk in hemodialysis patients	PLoS One 10(4): e0122691, 2015
35	Ryo Koda, Junichiro James Kazama, Koji Matsuo, Kazuko Kawamura, Suguru Yamamoto, Minako Wakasugi, Tetsuro Takeda, Ichiei Narita	Department of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata	Intact parathyroid hormone and whole parathyroid hormone assay results disagree in hemodialysis patients under cinacalcet hydrochloride therapy	Clinical Experimental Nephrology 19(4): 710- 717, 2015
36	Takeshi Kuroda, Naohito Tanabe, Ayako Wakamatsu, Chinatsu Takai, Hiroe Sato, Takeshi Nakatsue, Yoko Wada, Masaaki Nakano, Ichiei Narita	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	High triglyceride is a risk factor for silent osteonecrosis of the femoral head in systemic lupus erythematosus	Clinical Rheumatology 34(12): 2071- 2077, 2015
37	Tetsuo Kobayashi, Satoshi Ito, Daisuke Kobayashi, Anri Kojima, Atsushi Shimada, Ichiei Narita, Akira Murasawa, Kiyoshi Nakazono, Hiromasa Yoshie	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Interleukin-6 receptor inhibitor tocilizumab ameliorates periodontal inflammation in patients with rheumatoid arthritis and periodontitis as well as tumor necrosis factor inhibitors	Clinical and Experimental Dental Research 1(2): 63-73, 2015
38	Toshinori Takada, Ami Aoki, Katsuaki Asakawa, Takuro Sakagami, Hiroshi Moriyama, Ichiei Narita, Shinji Sato	Division of Respiratory Medicine, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan; Uonuma Institute of Community Medicine, Niigata University Medical and Dental Hospital	Serum cytokine profiles of patients with interstitial lung disease associated with anti-CADM-140/MDA5 antibody positive amyopathic dermatomyositis	Respiratory Medicine 109(9): 1174- 1180, 2015

小計6件

39	Suguru Yamamoto, Jiayong Zhong, Patricia G. Yancey, Yiqin Zuo, MacRae F. Linton, Sergio Fazio, Haichun Yang, Ichiei Narita, Valentina Kon	Department of Pediatrics, Vanderbilt University Medical Center, Nashville, TN, USA; Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Science	Atherosclerosis following renal injury is ameliorated by pioglitazone and losartan via macrophage phenotype	Atherosclerosis 242(1): 56-64, 2015
40	Minako Wakasugi, Junichiro James Kazama, Ichiei Narita, Tsuneo Konta, Shouichi Fujimoto, Kunitoshi Iseki, Toshiki Moriyama, Kunihiro Yamagata, Kazuhiko Tsuruya, Koichi Asahi, Kenjiro Kimura, Masahide Kondo, Issei Kurahashi, Yasuo Ohashi, Tsuyoshi Watanabe	Center for Inter-Organ Communication Research, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Association between hypouricemia and reduced kidney function: a cross-sectional population-based study in Japan	American Journal of Nephrology 41(2): 138-146, 2015
41	Keiko Yamamoto-Kabasawa, Michihiro Hosojima, usuke Yata, Mariko Saito, Noriko Tanaka, Junta Tanaka, Naohito Tanabe, Ichiei Narita, Masaaki Arakawa, Akihiko Saito	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences,	Benefits of a 12-week lifestyle modification program including diet and combined aerobic and resistance exercise on albuminuria in diabetic and non-diabetic Japanese populations	Clinical and Experimental Nephrology 19(6): 1079-1089, 2015
42	Yoshifumi Hoshino, Toshiyuki Koya, Hiroshi Kagamu, Keisuke Tsukioka, Mio Toyama, Takuro Sakagami, Takashi Hasegawa, Ichiei Narita, Masaaki Arakawa, Eiichi Suzuki	Division of Respiratory Medicine, Department of Homeostatic Regulation and Development, Course in Biological Functions and Medical Control, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Effect of inhaled corticosteroids on bronchial asthma in Japanese athletes	Allergology international 64(2): 145-149, 2015
43	Toshiki Furukawa, Takuro Sakagami, Toshiyuki Koya, Takashi Hasegawa, Hidenori Kawakami, Yosuke Kimura, Yoshifumi Hoshino, Hirotaka Sakamoto, Kenjiro Shima, Keisuke Tsukioka, Mio Toyama, Masachika Hayashi, Hiroshi Kagamu, Ei-ichi Suzuki, Ichiei Narita	Division of Respiratory Medicine, Department of Homeostatic Regulation and Development, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata, Japan.	Characteristics of eosinophilic and non-eosinophilic asthma during treatment with inhaled corticosteroids	Journal of Asthma 52(4): 417-422, 2015

小計5件

44	Satoshi Hokari, Yasuyoshi Ohshima, Hideaki Nakayama, Ryoko Suzuki, Tomosue Kajiwara, Toshiyuki Koya, Hiroshi Kagamu, Toshinori Takada, Eiichi Suzuki, Ichiei Narita	Division of Respiratory Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuo-ku, Niigata-shi, Niigata 951-8510, Japan.	Superiority of respiratory failure risk index in prediction of postoperative pulmonary complications after digestive surgery in Japanese patients	Respiratory Investigation 53(3): 104-110, 2015
45	Yu Saida, Satoshi Watanabe, Tomohiro Tanaka, Junko Baba, Ko Sato, Satoshi Shoji, Natsue Igarashi, Rie Kondo, Masaaki Okajima, Jun Koshio, Kosuke Ichikawa, Koichiro Nozaki, Daisuke Ishikawa, Toshiyuki Koya, Satoru Miura, Junta Tanaka, Hiroshi Kagamu, Hirohisa Yoshizawa, Koh Nakata, Ichiei Narita	Department of Medicine (II), Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata City, Niigata 951-8520, Japan.	Critical Roles of Chemoresistant Effector and Regulatory T Cells in Antitumor Immunity after Lymphodepleting Chemotherapy	The Journal of Immunology 195(2): 726-735, 2015
46	Hiroataka Sakamoto, Satoshi Watanabe, Takashi Hasegawa, Toshiyuki Koya, Keisuke Tsukioka, Kenjiro Shima, Hiroshi Kagamu, Yosuke Kimura, Takuro Sakagami, Eiichi Suzuki, Ichiei Narita	Division of Respiratory Medicine, Department of Homeostatic Regulation and Development, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	The Effects of All-Trans Retinoic Acid on the Induction of Oral Tolerance in a Murine Model of Bronchial Asthma	International Archives Allergy and Immunology 167(3): 167-176, 2015
47	Katsuaki Asakawa, Toshinori Takada	Niigata University Medical and Dental Hospital Niigata City, Japan.	Polymyxin B-immobilized fiber columns: A column to breathe new life into the treatment of interstitial lung disease?	World Journal of Respirology 5(1): 1-3, 2015
48	Ami Aoki, Hiroshi Moro, Takayuki Watanabe, Katsuaki Asakawa, Satoru Miura, Masato Moriyama, Yoshinari Tanabe, Hiroshi Kagamu, Ichiei Narita	Division of Respiratory Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	A case of severe thrombocytopaenia associated with acute HIV-1 infection	International Journal of STD & AIDS 26(3): 209-211, 2015
49	Kensaku Kasuga, Masataka Kikuchi, Takayoshi Tokutake, Akihiro Nakaya, Toshiyuki Tezuka, Tamao Tsukie, Norikazu Hara, Akinori Miyashita, Ryoza Kuwano and Takeshi Ikeuchi	Department of Molecular Genetics, Brain Research Institute, Niigata University	Systematic review and meta-analysis of Japanese familial Alzheimer's disease and FTDP-17	Journal of Human Genetics 60(5): 281-283, 2015

50	Masayoshi Tada, Masatoyo Nishizawa, Osamu Onodera	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	Redefining cerebellar ataxia in degenerative ataxias: lessons from recent research on cerebellar systems	J Neurol Neurosurg Psychiatry86(8):922-928
51	Tetsutaro Ozawa	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	Reply to: Relationship between leptin and blood pressure in patients with multiple system atrophy	Journal of the Neurological Sciences348(1-2):285, 2015
52	Ryuji Yajima Takayoshi Tokutake, Akihide Koyama, Kensaku Kasuga, Toshiyuki Tezuka, Masatoyo Nishizawa, Takeshi Ikeuchi	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	ApoE-isoform-dependent cellular uptake of amyloid-beta is mediated by lipoprotein receptor LR11/SorLA	Biochem Biophys Res Commun456(1):482-488, 215
53	Kensaku Kasuga, MD, PhD Ryoko Takeuchi, MD, Toshiaki Takahashi, MD, PhD, Nae Matsubara, MD, PhD Ryoko Koike, MD, PhD, Akio Yokoseki, MD, PhD Masatoyo Nishizawa, MD, PhD	Department of Molecular Genetics, Brain Research Institute, Niigata University	Multifocal hits for propagation of prion protein in sporadic Creutzfeldt-Jakob disease	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm2(1):53, 2015
54	Kei Watanabe, Toru Hirano, Keiichi Katsumi, Masayuki Ohashi, Atsushi Ishikawa, Ryoko Koike, Naoto Endo, Masatoyo Nishizawa, Takayoshi Shimohata	Department of Orthopedic Surgery, Niigata University Medical and Dental General Hospital	Characteristics and exacerbating factors of chronic low back pain in Parkinson's disease	International Orthopaedics39(12):2433-2438, 2015
55	Yuka Koike, Masato Kanazawa, Kenshi Terajima, Kei Watanabe, Masayuki Ohashi, Naoto Endo, Takayoshi Shimohata, Masatoyo Nishizawa	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	Apparent diffusion coefficients distinguish amyotrophic lateral sclerosis from cervical spondylotic myelopathy	Clinical Neurology and Neurosurgery132:33-36, 2015
56	Masato Kanazawa, Naohiro Wakasugi, Masahiro Hatakeyama, Takayoshi Shimohata, Masatoyo Nishizawa	Departments of aNeurology and bPathology, Brain Research Institute, Niigata University	Fluid-fluid levels in lateral ventricles predict bacterial CNS infections	Journal Neurological Sciences357(1-2):292-294, 2015

57	Masato Kanazawa ,Kunio Kawamura, Tetsuya Takahashi, Minami Miura, Yoshinori Tanaka, Misaki Koyama, Masafumi Toriyabe, Hironaka Igarashi, Tsutomu Nakada, Masugi Nishihara, Masatoyo Nishizawa and Takayoshi Shimohat	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	Multiple therapeutic effects of progranulin on experimental acute ischaemic stroke	Brain 138(7):1932-1948, 2015
58	Izumi Kawachi, Masatoyo Nishizawa	Departments of aNeurology and bPathology, Brain Research Institute, Niigata University	Significance of gray matter brain lesions in multiple sclerosis and neuromyelitis optica	Neuropathology 35(5):481-486, 2015
59	Ryuji Yajima, Yasuko Toyoshima, Yoko Wada, Tetsuya Takahashi, Hiroyuki Arakawa, Gaku Ito, Daisuke Kobayashi, Mitsunori Yamada, d Izumi Kawachi, Ichiei Narita, Hitoshi Takahashi, Masatoyo Nishizawa Departments of aNeurology and bPathology, Brain Research Institute, Niigata University, cThe Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, and dDepartment of Clinical Research, Saigata Medical Center, National Hospital Organization	Departments of aNeurology and bPathology, Brain Research Institute, Niigata University	A Fulminant Case of Granulomatosis with Polyangiitis with Meningeal and Parenchymal Involvement	Case Report Neurology 17(1):101-104, 2015
60	Tetsuhiko Ikeda, Tetsuya Takahashi, Mika Tsujita, Masato Kanazawa, Masafumi Toriyabe, Misaki Koyama, Kosuke Ito, Tsutomu Nakada, Masatoyo Nishizawa, Shimohata Takayoshi	Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University	Effects of Alda-1, an Aldehyde Dehydrogenase-2 Agonist, on Hypoglycemic Neuronal Death	PLoS One 10(6):e0128844, 2015
61	Ryuji Yajima, MD, PhD Kota Utsumi, MD, Tomohiko Ishihara, MD, PhD Masato Kanazawa, MD, PhD Kouichirou Okamoto, MD, PhD Izumi Kawachi, MD, PhD Masatoyo Nishizawa, MD, PhD	Departments of aNeurology and bPathology, Brain Research Institute, Niigata University	Varicella-zoster virus encephalitis localized to the bilateral medial temporal lobes	Neurology Neuroimmunology & Neuroinflammation 2(4):e108, 2015

62	Kamimura K, Kobayashi M, Sato Y, Aoyagi Y, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Collagenous gastritis: Review	World J Gastrointest Endosc. 7 :265-273, 2015
63	Abe H, Kamimura K, Kawai H, Kamimura H, Domori K, Kobayashi Y, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Diagnostic imaging of hepatic lymphoma.	Clin Res Hepatol Gastroenterol . 39: 435-442
64	Kanefuji T, Takano T, Suda T, Akazawa K, Yokoo T, Kamimura H, Kamimura K, Tsuchiya A, Takamura M, Kawai H, Yamagiwa S, Aoyama H, Nomoto M, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Factors predicting aggressiveness of non-hypervascular hepatic nodules detected on hepatobiliary phase of gadolinium ethoxybenzyl diethylene-triamine-pentaacetic-acid magnetic resonance imaging.	World J Gastroenterol .21: 4583-4591.
65	Kamimura K, Abe H, Kawai H, Kamimura H, Kobayashi Y, Nomoto M, Aoyagi Y, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Advances in understanding and treating liver diseases during pregnancy: A review.	World J Gastroenterol 21: 5183-5190, 2015
66	Kamimura K, Yokoo T, Abe H, Kobayashi Y, Ogawa K, Shinagawa Y, Inoue R, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Image-guided hydrodynamic gene delivery: Current status and future directions.	Pharmaceutics 7: 213-223, 2015
67	Yokoo T, Kanefuji T, Suda T, Kamimura K, Liu D, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Site-specific impact of a regional hydrodynamic injection: computed tomography study during hydrodynamic injection targeting the swine liver.	Pharmaceutics 7: 334-343, 2015
68	Kamimura K, Kumaki D, Arita M, Kobayashi Y, Mizuno K, Kusama F, Kobayashi M, Abe H, Takahashi Y, Ogawa K, Shinagawa Y, Takeuchi M, Sato Y, Kawai H, Yamagiwa S, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	First case of bacteremia caused by Helicobacter cinaedi in a patient with liver cirrhosis: a case report and literature review. Clin J Gastroenterol.	Clin J Gastroenterol . 2015 8: 306-317, 2015

小計7件

69	Abe H, Kamimura K, Kobayashi Y, Ohtsuka M, Miura H, Ohashi R, Yokoo T, Kanefuji T, Suda T, Tsuchida M, Aoyagi Y, Zhang G, Liu D, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Effective prevention of liver fibrosis by liver-targeted hydrodynamic gene delivery of matrix metalloproteinase-13 in a rat liver fibrosis model.	Mol Ther Nucleic Acids. 5: e276, 2016
70	Sato H, Takeuchi M, Takahashi K, Sato Y, Hashimoto S, Mizuno K, Suzuki K, Kobayashi M, Honma T, Inoue H, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Nutcracker and jackhammer esophagus treatment: a three-case survey, including two novel cases of eosinophilic infiltration into the muscularis propria.	Endoscopy. 47(9):855-7, 2015
71	Takahashi K, Takeuchi M, Sato Y, Sato H, Mizuno K, Hashimoto S, Kobayashi M, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Evaluation of esophageal motility after endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal cancer.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 27(10):1187-92, 2015
72	Kuraoka N, Tsuchiya A, Suda T, Terai S.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Improvement of Pancreatic Tumor-induced NAFLD with Pancrelipase.	Intern Med. 55(1):89-90, 2016
73	Motai Y, Takahashi M, Takachi T, Higuchi M, Hara T, Mizuguchi M, Aoyagi Y, Terai S, Tanaka Y, Fujii M.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Human T-cell leukemia virus type 1 (HTLV-1) Tax1 oncoprotein but not HTLV-2 Tax2 induces the expression of OX40 ligand by interacting with p52/p100 and RelB.	Virus Genes. ;52(1):4-13, 2016
74	Moriyama M1, Yano T1, Furukawa T1, Takada T1, Ushiki T1, Masuko M1, Takizawa J1, Sone H1, Tazawa R1, Saijo Y1, Ishii H2, Nakata K	Niigata University Medical and Dental Hospital	Possible Involvement of Lung Cells Harboring an Abnormal Karyotype in the Pathogenesis of Pulmonary Alveolar Proteinosis Associated with Myelodysplastic Syndrome.	Ann Am Thorac Soc. 12(8):1251-3, 2015
75	Egawa J	Department of Psychiatry	Resequencing and association analysis of OXTR with autism spectrum disorder in a Japanese population.	Psychiatry Clin Neurosci 69(3): 131-135, 2015.

小計7件

76	Egawa J	Department of Psychiatry	Novel rare missense variations and risk of autism spectrum disorder: Whole-exome sequencing in two families with affected siblings and a two-stage follow-up study in a Japanese population.	PLoS One 10(3): e0119413, 2015.
77	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Division of Medical Education	DRD2 Ser311Cys polymorphism and risk of schizophrenia (letter).	Am J Med Genet B 168(3): 224-228, 2015.
78	Ono S	Department of Psychiatry	GIPR gene polymorphism and weight gain in schizophrenia patients treated with olanzapine.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci 27(2): 162-164, 2015.
79	Sugimoto A	Department of Psychiatry	Efficacy of atomoxetine for symptoms of attention-deficit/hyperactivity disorder in children with a history of child abuse.	J Child Adol Psychopharmacol 25(3): 269-271, 2015.
80	Sakai M	Department of Psychiatry, Department of Molecular Neurobiology	Assessment of copy number variations in the brain genome of schizophrenia patients.	Mol Cytogenet 8: 46, 2015.
81	Inoue E	Department of Psychiatry	Rare heterozygous truncating variations and risk of autism spectrum disorder: Whole-exome sequencing of a multiplex family and follow-up study in a Japanese population.	Psychiatry Clin Neurosci 69(8): 472-476, 2015.
82	Egawa J	Department of Psychiatry	Whole-exome sequencing in a family with a monozygotic twin pair concordant for autism spectrum disorder and a follow-up study.	Psychiatry Res 229(1-2): 599-601, 2015.
83	Sugai T	Department of Psychiatry	High prevalence of underweight and under-nutrition in Japanese inpatients with schizophrenia: A nationwide survey.	BMJ Open 5(12): e008720, 2015.

小計8件

84	Inoue E	Department of Psychiatry	Resequencing and association analysis of CLN8 with autism spectrum disorder in a Japanese population.	PLoS One 10(12): e0144624, 2015.
85	Shichiri K	Department of Psychiatry, Health Administration Center	Features of developmental level of defense mechanisms and adjustment status of university students in Japan.	Health 7: 52-57, 2015.
86	Yokoyama Y	Department of Psychiatry, Department of Pathology	Pathological and clinical spectrum of progressive supranuclear palsy: With special reference to astrocytic tau pathology.	Brain Pathology (epub).
87	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Division of Medical Education	Rare truncating variations and risk of schizophrenia: Whole-exome sequencing in three families with affected siblings and a three-stage follow-up study in a Japanese population.	Psychiatry Res (epub).
88	Sugai T	Department of Psychiatry	Difference in prevalence of metabolic syndrome between Japanese outpatients and inpatients with schizophrenia	A nationwide survey. Schizophr Res (in press).
89	Tsuneyama N	Department of Psychiatry	Effect of serum leptin on weight gain induced by olanzapine in female patients with schizophrenia.	PLoS One (in press).
90	Watanabe K, Suzuki H, Jiang M, Haniu H, Numano F, Hoshina S, Saitoh A, Uchiyama M, Bujo H.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Soluble LR11 is a novel biomarker for vascular lesions late after Kawasaki disease.	Atherosclerosis. 2016 Mar;246:94-7.
91	Kaneko M, Ikezumi Y, Yamada T, Hasegawa H, Kaneko U, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Local leukocyte proliferation as a target for cyclophosphamide in the treatment of Henoch-Schö nlein purpura nephritis grade six.	Nephrology (Carlton). Jan;21(1): 68-71, 2016.

小計8件

92	Takahashi Y, Ikezumi Y, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Rituximab protects podocytes and exerts anti-proteinuric effects in rat adriamycin-induced nephropathy independent of B-lymphocytes	Nephrology (Carlton). Feb 2, 2016. [Epub ahead of print]
93	Aizawa Y, Suzuki Y, Watanabe K, Oishi T, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Clinical utility of serum samples for human parechovirus type 3 infection in neonates and young infants: The 2014 epidemic in Japan.	J Infect. 2016 Feb;72(2):223-32.
94	Aizawa Y, Watanabe K, Oishi T, Hirano H, Hasegawa I, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Role of Maternal Antibodies in Infants with Severe Diseases Related to Human Parechovirus Type 3.	Emerg Infect Dis. 2015 Nov;21(11):1966-72.
95	Aizawa Y, Yamanaka T, Watanabe K, Oishi T, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Asymptomatic children might transmit human parechovirus type 3 to neonates and young infants.	J Clin Virol. 2015 Sep;70:105-8.
96	Saitoh A, Aizawa Y, Sato I, Hirano H, Sakai T, Mori M.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Skin thickness in young infants and adolescents: Applications for intradermal vaccination.	Vaccine. 2015 Jun 26;33(29):3384-91.
97	Ikezumi Y, Suzuki T, Yamada T, Hasegawa H, Kaneko U, Hara M, Yanagihara T, Nikolic-Paterson DJ, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Alternatively activated macrophages in the pathogenesis of chronic kidney allograft injury.	Pediatr Nephrol. 2015 Jun;30(6):1007-17.
98	Saito T, Nagasaki K, Nishimura G, Wada M, Nyuzuki H, Takagi M, Hasegawa T, Amano N, Murotsuki J, Sawai H, Yamada T, Sato S, Saitoh A.	Department of Pediatrics, Niigata University Medical and Dental Hospital	Criteria for radiologic diagnosis of hypochondroplasia in neonates.	Pediatr Radiol. 2016 Apr;46(4):513-8. doi: 10.1007/s00247-015-3518-2. Epub 2016 Feb 11.

小計7件

99	Kameyama H, Nagahashi M, Hirose Y, Sudo N, Tajima Y, Nakano M, Shimada Y, Kobayashi T, Kosugi SI, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	A Case of Obstructive Colitis with Elevated Serum Carcinoembryonic Antigen	J Clin Case Rep 5 : 635, 2015.
100	Hirashima K, Ishikawa T, Kosugi S, Kano Y, Sato Y, Ichikawa H, Hanyu T, Bamba T, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Internal hernia after laparoscopic-assisted proximal gastrectomy with jejunal interposition for gastric cancer: a case report	Surg Case Rep 1(1) : 49, 2015.
101	Shimada Y, Kido T, Kameyama H, Nakano M, Yagi R, Tajima Y, Okamura T, Nakano M, Nagahashi M, Kobayashi T, Minagawa M, Kosugi S, Wakai T, Ajioka Y	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Clinical significance of perineural invasion diagnosed by immunohistochemistry with anti-S100 antibody in Stage I-III colorectal cancer.	Surg Today. 45(12):1493-500, 2015.
102	Nagahashi M, Takabe K, Liu R, Peng K, Wang X, Wang Y, Hait NC, Wang X, Allegood JC, Yamada A, Aoyagi T, Liang J, Pandak WM, Spiegel S, Hylemon PB, Zhou H	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Conjugated bile acid-activated S1P receptor 2 is a key regulator of sphingosine kinase 2 and hepatic gene expression.	Hepatology 61(4) : 1216-1226, 2015.
103	Hanyu T, Matsuki A, Kosugi S, Ishikawa T, Nashimoto A, Yabusaki H, Aizawa M, Ichikawa H, Shimada Y, Hirose Y, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prognostic analysis of submucosa-invasive gastric cancer with lymph node metastasis	Surgery 157(4) : 716-722, 2015.
104	Ichikawa H, Yoshida A, Kanda T, Kosugi S, Ishikawa T, Hanyu T, Taguchi T, Sakumoto M, Katai H, Kawai A, Wakai T, Kondo T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prognostic significance of promyelocytic leukemia expression in gastrointestinal stromal tumor; integrated proteomic and transcriptomic analysis	Cancer Sci 106(1) : 115-124, 2015.
105	Kano Y, Kosugi S, Ishikawa T, Otani T, Muneoka Y, Sato Y, Hanyu T, Hirashima K, Bamba T, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prognostic significance of peritoneal lavage cytology at three cavities in patients with gastric cancer	Surgery 158(6) : 1581-1589, 2015.

小計7件

106	Toshikawa C, Koyama Y, Nagahashi M, Tatsuda K, Moro K, Tsuchida J, Hasegawa M, Niwano T, Manba N, Ikarashi M, Kameyama H, Kobayashi T, Kosugi S, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Predictive Factors for Non-Sentinel Lymph Node Metastasis in the Case of Positive Sentinel Lymph Node Metastasis in Two or Fewer Nodes in Breast Cancer	J Clin Med Res 7(8) : 620-626, 2015.
107	Tsuchida J, Nagahashi M, Rashid OM, Takabe K, Wakai T	Division of Digestive and General Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	At what age should screening mammography be recommended for Asian women?	Cancer Medicine Jul4:1136-1144, 2015.
108	Seijiro Sato, Terumoto Koike, Takehisa Hashimoto, Masanori Tsuchida	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Surgical resection for a second primary lung cancer originating close to the initial surgical margin for lung squamous cell carcinoma.	Case Report in Surgery 2015: 1-5, 2015
109	Seijiro Sato, Noriko Motoi, Miyako Hiramatsu, Eisaku Miyauchi, Hiroshi Ono, Yuichi Saito, Hiroko Nagano, Hironori Ninomiya, Kentaro Inamura, Hirofumi Uehara, Mingyon Mun, Yukinori Sakao, Sakae Okumura, Masanori Tsuchida, Yuichi Ishikawa	Division of Pathology, The Cancer Institute, Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital † Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo ‡ Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Hospital, Niigata, Japan.	Pulmonary adenocarcinoma in situ: analyses of a large series with reference to smoking, driver mutations, and receptor tyrosinekinase pathway activation.	American Journal of Surgical Pathology 39(7) : 912-921, 2015
110	Seijiro Sato, Akihiko Kitahara, Terumoto Koike, Takehisa Hashimoto, Riuko Ohashi, Yoichi Kameda, Masanori Tsuchida	Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	A Case of Ectopic ACTH-Producing Pulmonary Carcinoid Arising in an Extralobar Pulmonary Sequestration	International Journal of Surgical Pathology 24(2) : 130-134, 2015
111	Ai Sugimoto, Noritaka Ota, Kisaburo Sakamoto	Department of Cardiovascular Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital	Pulmonary haemorrhage due to an aortopulmonary collateral artery after arterial switch	Cardiology in the Young 26(3) : 579-581, 2015
112	Ai Sugimoto, Shuichi Shiraishi, Jiyong Moon, Masashi Takahashi, Masanori Tsuchida	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Coronary Ostioplasty for Congenital Atresia of the Left Main Coronary Artery Ostium in a Teenage Boy	World Journal for Pediatric and Congenital Heart Surgery 1-4, 2015

小計7件

113	Ayako Nagasawa, Terumoto Koike, Takeshi Okamoto, Osamu Namura, Masanori Tsuchida	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Surgical Resection for Solitary Myocardial Metastasis of Gastric Cancer	The Annals of Thoracic Surgery 101 (5) :1978-1980, 2016
114	Seijiro Sato, Terumoto Koike, Takehisa Hashimoto, Hiroyuki Ishikawa, Akira Okada, Takehiro Watanabe, Masanori Tsuchida.	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Surgical Outcomes of Lung Cancer Patients with Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema and those with Idiopathic Pulmonary Fibrosis without Emphysema.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Apr 5.
115	Terumoto Koike, Akihiko Kitahara, Seijiro Sato, Takehisa Hashimoto, Tadashi Aoki, Teruaki Koike, Katsuo Yoshiya, Shin-ichi Toyabe, Masanori Tsuchida.	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Lobectomy Versus Segmentectomy in Radiologically Pure Solid Small-Sized Non-Small Cell Lung Cancer.	Ann Thorac Surg. 2016 Apr;101(4):1354-60
116	Seijiro Sato, Akihiko Kitahara, Terumoto Koike, Takehisa Hashimoto, Riuko Ohashi, Noriko Motoi, Masanori Tsuchida.	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Resection of a large ectopic parathyroid adenoma: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2016;23:8-11.
117	Ai Sugimoto, Masashi Takahashi, Shuichi Shiraishi, Maya Watanabe, Moon Jiyong, Masanori Tsuchida.	Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital	Pneumocephalus and subcutaneous scalp emphysema in a neonate on a low-flow nasal cannula.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2016 May;64(5):277-9.
118	Sano,H., Kondo,N., Endo,N., et al.	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Intravital bone imaging by two-photon excitation microscopy to identify osteocytic osteolysis in vivo	Bone 74: 134-139, 2015.
119	Norio Imai, Tomoyuki Ito, Ken Suda, Dai Miyasaka, Naoto Endo	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Manual calf massage and passive ankle motion decrease the risk of vein thromboembolism after total hip arthroplasty	International Journal of Science and Research 4(4); 1484-1488, 2015.

120	Norio Imai, Dai Miyasaka, Hayato Shimada, Ken Suda, Naoto Endo, Tomoyuki Ito	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Usefulness of a combined D-dimer and age-based index for the screening of deep vein thrombosis before total hip arthroplasty	International Journal of Science and Research 4(6); 33-37, 2015.
121	Yamagishi, T. Ogose, A., Kawashima, H., Ariizumi, T., Hotta, T., Endo, N., et al.	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	A circumferential parallel ligation method for resection of an infected huge arteriovenous malformation in the scapula after endovascular embolization	Int Canc Conf J 3;117-121, 2015.
122	Kawashima, H., Ogose, A., Hotta, T., Endo, N., et al.	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Secondary osteosarcoma arising from osteochondroma following autologous stem cell transplantation with total-body irradiation for neuroblastoma: A case report	Oncol Lett 10; 1026-1030, 2015.
123	Kusabe, Y., Kawashima, H., Ogose, A., Sasaki, T., Ariizumi, T., Hotta, T., Endo, N.	School of Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Effect of temozolomide on the viability of musculoskeletal sarcoma cells	Oncol Lett 10; 2611-2618, 2015.
124	Kondo N, Yoda T, Fujisawa J, Arai K, Sakuma M, Ninomiya H, Sano H, Endo N.	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Bilateral atypical femoral subtrochanteric fractures in a premenopausal patient receiving prolonged bisphosphonate therapy: evidence of severely suppressed bone turnover.	Clinical Cases in Mineral and Bone Metabolism 12(3); 277-281, 2015.
125	Sato H, Kondo N*, Wada Y, Nakatsue T, Endo N, et al.	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	The cumulative incidence of and risk factors for latent beaking in patients with autoimmune diseases taking long-term glucocorticoids and bisphosphonates.	Osteoporos Int 27; 1217-1225, 2016.

小計6件

126	Kondo N, Ogose A, Ariizumi T, Arai K, Kudo N, Kijima Y, Kanai T, Okumura G, Eimori K, Endo N.	Department of Orthopaedic Surgery, Niigata University Medical and Dental Hospital, Division of Comprehensive Geriatrics in Community, Niigata University Graduate School Medical and Denatal Science	Osteoclastic resorption and osteoinduction in the highly purified beta-tricalcium phosphate implanted in the rat subcutaneous tissue are promoted by autologous bone marrow cells.	International Journal of Engineering Research and science, 2: ISSN [2395-6992], 2016.
127	Matsuda K, Nishibayashi A, Toda K, Fujiwara T, Fukai M, Yoshioka D, Sawa Y, Hosokawa K.	Department of plastic and reconstructive surgery, Niigata University Graduate School of Medicine	Covering implantable left ventricular assist device (DuraHeart) with free flap.	J Artif Organs Jun;18(2):114-9, 2015.
128	Matsuda K, Shibata M, Kanazawa S, Kubo T, Hosokawa K.	Department of plastic and reconstructive surgery, Niigata University Graduate School of Medicine	Vein/Arterial Grafts Harvested within the Incision for a Free Groin Flap.	Plast Reconstr Surg Glob Open 3(6):e407, 2015.
129	Matsuda K, Kakibuchi M, Sotsuka Y, Kubo T, Shibata M, Hosokawa K.	Department of plastic and reconstructive surgery, Niigata University Graduate School of Medicine	End-to-side "loop" graft for total facial nerve reconstruction: Over 10 years experience.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 68(8):1054-63, 2015
130	Matsuda K, Kubo T, Fukai M, Kikuchi M, Hikasa H, Nakajima Y, Tomita K, Shibata M, Hosokawa K.	Department of plastic and reconstructive surgery, Niigata University Graduate School of Medicine	Free perivascular tissue flap transfer.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 68(7):973-8, 2015.
131	Jinguji S	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Long-term outcomes in patients with pineal nongerminomatous malignant germ cell tumors treated by radical resection during initial treatment combined with adjuvant therapy.	Acta Neurochir (Wien)
132	Suzuki T,	Department of Neurosurgery, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan; Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan	Fluid structure interaction analysis reveals facial nerve palsy caused by vertebral-posterior inferior cerebellar artery aneurysm.	Comput Biol Med.

133	Fukuda M	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Drainage patterns of the superficial middle cerebral vein: Effects on perioperative managements of petroclival meningioma.	Surg Neurol Int.
134	Nishiyama K	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Limitations of Neuroendoscopic Treatment for Pediatric Hydrocephalus and Considerations from Future Perspectives.	Neurol Med Chir (Tokyo)
135	Fukuda M	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Free-running EMG monitoring during microvascular decompression for hemifacial spasm.	Acta Neurochir (Wien)
136	Nishino K	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Bilateral Cavernous Carotid Aneurysms: The Growth Potential of a Contralateral Aneurysm after Therapeutic Unilateral Internal Carotid Artery Occlusion.	J Stroke Cerebrovasc Dis.
137	Ogura R	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Immunohistochemical profiles of IDH1, MGMT and P53: practical significance for prognostication of patients with diffuse gliomas.	Neuropatholog y.
138	Fukuda M	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Pharyngeal Motor Evoked Potential Monitoring During Skull Base Surgery Predicts Postoperative Recovery from Swallowing Dysfunction.	World Neurosurg.
139	Fukuda M	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Cortico-cortical activity between the primary and supplementary motor cortex: An intraoperative near- infrared spectroscopy study.	Surg Neurol Int.

小計7件

140	Yoneoka Y	Department of Neurosurgery, Brain Research Institute, University of Niigata	Early morphological recovery of the optic chiasm is associated with excellent visual outcome in patients with compressive chiasmal syndrome caused by pituitary tumors.	Neurol Res.
141	Matsuo Y	Department of Dermatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	A case of allergic contact dermatitis caused by arbutin.	Contact Dermatitis, 72 (6):404-405(2015)
142	Hayashi R	Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences; Division of Dermatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Analysis of unique mutations in the LPAR6 gene identified in a Japanese family with autosomal recessive woolly hair/hypotrichosis: Establishment of a useful assay system for LPA6.	J Dermatol Sci, 78(3):197-205(2015)
143	Hayashi R	Division of Dermatology, , Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Identification of a recurrent mitochondrial mutation in a Japanese family with palmoplantar keratoderma, nail dystrophy, and deafness.	Eur J Dermatol, 25(1):79-81(2015)
144	Hasebe H, Matsuoka N, Terashima H, Sasaki R, Ueda E, Fukuchi T	Division of Ophthalmology and Visual Science, Niigata University, 1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, Niigata 9518510, Japan	Restoration of the Ellipsoid Zone and Visual Prognosis at 1 Year after Surgical Macular Hole Closure.	J Ophthalmol. 2016;2016:1769794. doi: 10.1155/2016/1769794. Epub 2016 Jan 28.
145	Yoshino T, Fukuchi T, Togano T, Sakaue Y, Seki M, Tanaka T, Ueda J	Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata University, 1-757 Asahimachi-dori Niigata, Niigata, 951-8510, Japan. takaiko0706@gmail.com	Rate of progression of total, upper, and lower visual field defects in patients with open-angle glaucoma and high myopia.	Jpn J Ophthalmol. 2016 Mar;60(2):78-85. doi: 10.1007/s10384-016-0427-3. Epub 2016 Jan 29

小計6件

146	Matsuoka N, Hasebe H, Mayama T, Fukuchi T	Division of Ophthalmology and Visual Science, Niigata University, 1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata, Niigata Prefecture 9518510, Japan ; Murakami General Hospital, Niigata, Japan.	Sub-Tenon Injections of Triamcinolone Acetonide Had Limited Effect on Cystoid Macular Edema Secondary to Nanoparticle Albumin-Bound-Paclitaxel (Abraxane).	Case Rep Ophthalmol Med. 2015;2015:181269. doi: 10.1155/2015/181269. Epub 2015 Aug 23.
147	Hiroshi Matsuyama, Katsuaki Asakawa, Kaori Shinbori, Ryusuke Shodo, Hirotomo Yamazaki, Yushi Ueki, Shuji Izumi, Satoru Miura, et al.	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, Niigata University, Faculty of Medicine	A case of fatal interstitial pneumonia during treatment of radiotherapy plus cetuximab for patient with head and neck carcinoma	International Cancer Conference Journal
148	Keisuke Yamazaki, Ryusuke Shodo, Yushi Ueki, Hiroshi Matsuyama, Sugata Takahashi	Department of Otorhinolaryngology, Faculty of Medicine, Niigata University	Therapeutic Outcome After Resection of Pulmonary Metastasis from Head and Neck Carcinomas	Indian J Otolaryngol Head Neck Surg
149	Kuniyuki Takahashi, Yutaka Yamamoto, Manabu Ogi, Shinsuke Ohshima, Yuka Morita, Sugata Takahashi	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, Niigata University Faculty of Medicine, Japan	A case of lateral sinus insufficiency with acute otitis media: Early surgical intervention for prevention of lateral sinus thrombosis	Auris Nasus Larynx
150	Yuka Morita, Yutaka Yamamoto, Shinsuke Oshima, Kuniyuki Takahashi, Sugata Takahashi	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Niigata University Faculty of Medicine	Pediatric middle ear cholesteatoma: the comparative study of congenital cholesteatoma and acquired cholesteatoma	Eur Arch Otorhinolaryngol DOI 10.1007/s00405-015-3679-5
151	Tamura R, Yoshihara K, Yamawaki K, Suda K, Ishiguro T, Adachi S, Okuda S, Inoue I, Verhaak RG, Enomoto T.	Department of Obstetrics and Gynecology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Novel kinase fusion transcripts found in endometrial cancer.	Sci Rep. 2015;5:18657.
152	Nonaka T, Ooki I, Enomoto T, Takakuwa K.	Department of Obstetrics and Gynecology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Complex chromosomal rearrangements in couples affected by recurrent spontaneous abortion.	Int J Gynaecol Obstet. 2015;128(1):36-9.

小計7件

153	Ishiguro T, Sato A, Ohata H, Ikarashi Y, Takahashi RU, Ochiya T, Yoshida M, Tsuda H, Onda T, Kato T, Kasamatsu T, Enomoto T, Tanaka K, Nakagama H, Okamoto K.	Department of Obstetrics and Gynecology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Establishment and Characterization of an In Vitro Model of Ovarian Cancer Stem-like Cells with an Enhanced Proliferative Capacity.	Cancer Res. 2016;76(1):150-60.
154	Chihara M, Yoshihara K, Ishiguro T, Yokota Y, Adachi S, Okada H, Kashima K, Sato T, Tanaka A, Tanaka K, Enomoto T.	Department of Obstetrics and Gynecology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Susceptibility to male infertility: replication study in Japanese men looking for an association with four GWAS-derived loci identified in European men.	J Assist Reprod Genet. 2015;32(6):903-8.
155	Chihara M, Yoshihara K, Ishiguro T, Adachi S, Okada H, Kashima K, Sato T, Tanaka A, Tanaka K, Enomoto T.	Department of Obstetrics and Gynecology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Association of NR3C1/Glucocorticoid Receptor gene SNP with azoospermia in Japanese men.	J Obstet Gynaecol Res. 2016;42(1):59-66.
156	Aoyama H, Tago M, Shirato H; Japanese Radiation Oncology Study Group 99-1 (JROSG 99-1) Investigators.	Department of Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Stereotactic Radiosurgery With or Without Whole-Brain Radiotherapy for Brain Metastases: Secondary Analysis of the JROSG 99-1 Randomized Clinical Trial.	JAMA Oncol. 2015 Jul;1(4):457-64.
157	Saito H, Sueyama H, Fukuda T, Ota K.	Department of Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata City, Niigata, Japan.	Necrotising Candida oesophagitis after thoracic radiotherapy: significance of oesophageal wall oedema on CT.	BMJ Case Rep. 2015 Jul 1;2015.
158	Sato H, Abe E, Utsunomiya S, Kaidu M, Yamana N, Tanaka K, Ohta A, Obinata M, Liu J, Kawaguchi G, Maruyama K, Ayukawa F, Aoyama H	Department of Radiation Oncology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Superiority of a soft tissue-based setup using cone-beam computed tomography over a bony structure-based setup in intensity-modulated radiotherapy for prostate cancer.	J Applied Clinical Medical Phys 16(5):239-245, 2015
159	Tasaki A, Asatani MO, Umezu H, Kashima K, Enomoto T, Yoshimura N, Aoyama H.	Department of Radiology, Niigata University School of Medicine	Differential diagnosis of uterine smooth muscle tumors using diffusion-weighted imaging: correlations with the apparent diffusion coefficient and cell density.	Abdom Imaging. 2015 Aug;40(6):1742-52.

160	Watanabe T	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Ultrasound-guided supraclavicular brachial plexus block in a patient with a cervical rib	Can J Anaesth 62(6):671-3, 2015
161	Watanabe T	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Spinal mechanisms underlying potentiation of hindpaw responses observed after transient hindpaw ischemia in mice	Sci Rep 5:11191, 2015
162	Ishii H	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Anaesthesia and orphan disease: marked attenuation of motor evoked potentials by high-dose dexmedetomidine in a child with Angelman syndrome undergoing scoliosis surgery: A case report with pharmacokinetic analysis	Eur J Anaesthesiol 32(8):587-9, 2015
163	Hiruma M	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Using lung ultrasound in an infant to detect bronchial intubation not previously identified by auscultation	Can J Anaesth 62(10):1121- 2, 2015
164	Petrenko AB	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Genetic inactivation and prolonged pharmacologic inhibition of monoacylglycerol lipase have opposite effects on anesthetic sensitivity to propofol	Eur J Pharmacol 765(10):268- 73, 2015
165	Ohashi N	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Tranexamic acid evokes pain by modulating neuronal excitability in the spinal dorsal horn	Sci Rep 5:13458, 2015
166	Ohashi N	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Ultrasound-guided ilioinguinal/iliohypogastric block did not reduce emergence delirium after ambulatory pediatric inguinal hernia repair: a prospective randomized double-blind study	Surg Today. 2016 Aug;46(8):963 -9.

小計7件

167	Suzuki H	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Intrathecal morphine versus epidural ropivacaine infusion for analgesia after Cesarean section: a retrospective study	JA Clinical Reports 1:3, 2015
168	Morioka H	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Pectoral nerve block combined with general anesthesia for breast cancer surgery: a retrospective comparison	JA Clinical Reports 1:15, 2015
169	Shimizu H	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Thoracic paravertebral block reduced the incidence of chronic postoperative pain for more than 1 year after breast cancer surgery	JA Clinical Reports 1:19, 2015
170	Yoshida T	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	A new ultrasound-guided pubic approach for proximal obturator nerve block: clinical study and cadaver evaluation	Anaesthesia. 71(3):291-7, 2016
171	Yoshida T	Division of Anesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The proximal approach for ultrasound-guided infraclavicular brachial plexus block	Acta Anaesthesiol Taiwan. 54(1): 31-2, 2016
172	Takeuchi G, Kobayashi T, Hasebe D, Funayama A, Mikami T, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Changes in maximum lip closing force following orthognathic surgery in patients with jaw deformities.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 27(4):465-469, 2015.
173	Takatsuji H, Kobayashi T, Kojima T, Hasebe D, Izumi N, Saito I, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Effects of orthognathic surgery on psychological status of patients with jaw deformities.	Int J Oral Maxillofac Surg 44(9):1125-1130, 2015.

小計7件

174	Mikami T, Maruyama S, Abé T, Kobayashi T, Yamazaki M, Funayama A, Shingaki S, Kobayashi T, Jun C, Saku T	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Keratin 17 is co-expressed with 14-3-3 sigma in oral carcinoma in situ and squamous cell carcinoma and modulates cell proliferation and size but not cell migration.	Virchows Arch 466(5): 559-569, 2015.
175	Nagata M, Kurita H, Uematsu K, Ogawa S, Takahashi K, Hoshina H, Takagi R	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Diagnostic value of CDK / CDK inhibitor expression ratios as biomarkers of locoregional and hematogenous dissemination risks in oral squamous cell carcinoma	Molecular and clinical oncology
176	Uenoyama A, Kakizaki I, Shiomi A, Saito N, Hara Y, Saito T, Ohnuki H, Kato H, Takagi R, Maeda T, Izumi K	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Effects of C-xylopyranoside Derivative on Epithelial Regeneration in an In Vitro 3D Mucosa Model. Bioscience Biotechnology and Biochemistry.	Journal Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry
177	Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The Occurrence Rate and Diameter of Arteries Traveling Near the Mandible and an Assessment of the Relative Hemorrhage Risk in Implant Surgery	Clinical Implant Dentistry Related Research
178	Yamada E, Takagi R, Sudo K, Kato S	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Determination of abacavir, tenofovir, darunavir, and raltegravir in human plasma and saliva using liquid chromatography coupled with tandem mass spectrometry	Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis
179	Hara Y, Ikeda N, Takagi R, Horino K, Iida A, Nishiyama H, Hayashi T, Cheng J, Saku T	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Health Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Basaloid squamous cell carcinoma of the uvula: report of a case and review of the literature	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology

小計6件

180	Tanaka R, Saito M, Abe T, Ajima H, Saku T, Hayashi T	Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental and Oral Radiology, Niigata University Medical & Dental Hospital)	Mandibular osteonecrosis in a patient receiving denosumab and sunitinib.	J Med Case
181	Katsura K, Soga M, Abe E, Matsuyama H, Aoyama H, Hayashi T	Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental and Oral Radiology, Niigata University Medical & Dental Hospital)	Effects of casein phosphopeptide-amorphous calcium phosphate with sodium fluoride on root surface conditions in head and neck radiotherapy patients.	Oral Radiology
182	Saitoh, I., Inada, E., Iwase, Y., Noguchi, H., Murakami, T., Soda, M., Kubota, N., Hasegawa, H., Akasaka, E., Matsumoto, Y., Oka, K., Yamasaki, Y., Hayasaki, H., Sato, M.	Division of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata University	Choice of feeders is important for the preparation of iPS cells from primarily cultured human deciduous tooth dental pulp cells.	Cell Med. 8:9-23, 2015
183	Sano-Asahito, T., Suzuki, A., Matsuyama, J., Mitomi, T., Kinoshita-Kawano, S., Hayashi-Sakai, S., Asahito, T.	Division of Pediatric Dentistry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Self-esteem and oral condition of institutionalized abused children in Japan.	J. Clin. Pediatr. Dent. 39:322-325, 2015
184	Matsuyama, J., Kinoshita-Kawano, S., Hayashi-Sakai, S., Mitomi, T., Sano-Asahito, T.	Division of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Severe impaction of the primary mandibular second molar accompanied by displacement of the permanent second premolar.	Case Rep. Dent. Article ID 582462, 2015
185	Fukui T, Kano H, Saito I	Division of Orthodontics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Nonsurgical treatment of an adult with an open bite and large lower anterior facial height with edgewise appliances and temporary anchorage devices.	Am J Orthod Dentofacial Orthop 149(6): 889-898, 2016.
186	Sakaue K, Sasakura C, Fukui T, Hori K, Ono T, Saito I	Divisions of Orthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism.	J Oral Rehabil 43(5):348-55, 2016.

小計7件

187	Hirotoomi T,	Division of Preventive Dentistry, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Number of teeth and 5-year mortality in an elderly population.	Community Dent Oral Epidemiol. 43(3): 226-231, 2015.
188	Minagawa K,	Division of Preventive Dentistry, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Relationship between metabolic syndrome and periodontitis in 80-year-old Japanese subjects.	J Periodont Res, 50(2): 173-179, 2015
189	Yoshihara A,	Division of Preventive Dentistry, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	The interaction between beta-3 adrenergic receptor and PPAR gamma gene polymorphism to periodontal disease in community-dwelling elderly Japanese.	J Periodontol, 86(8): 955-963, 2015.
190	Takiguchi T,	Division of Preventive Dentistry, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Oral Health and Depression in older Japanese people.	Gerodontology, 2015 doi: 10.1111/ger.12177
191	Sato M	Division of Preventive Dentistry, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Association between periodontitis and medical expenditure in elderly people: a 33-month follow-up study.	Geriatr Gerontol Int. 2016 Jul;16(7):856-64
192	Kobayashi M, Kawase T, Okuda K, Wolff LF, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 2-5274 Gakko-cho, Chuo-ku, Niigata 951-8514, Japan	In vitro immunological and biological evaluations of the angiogenic potential of platelet-rich fibrin preparations: a standardized comparison with PRP preparations.	Int J Implant Dent 1: 31, 2015.
193	Okuda K, Nakajima Y, Kawase T, Kobayashi M, Kamiya M, Horimizu M, Wolff LF, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 2-5274 Gakko-cho, Chuo-ku, Niigata 951-8514, Japan	Platelet-rich fibrin membrane combined with beta-tricalcium phosphate for treatment of infrabony defects in chronic periodontitis: a case series.	J J Dent Res 2(3): 022, 2015.

小計7件

194	Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S, Numabe Y, Fukaya C, Yoshinari N, Fukuda M, Noguchi T, Kono T, Umeda M, Fujise O, Nishimura F, Yoshimura A, Hara Y, Nakamura T, Noguchi K, Kakuta E, Hanada N, Takashiba S, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 2-5274 Gakko-cho, Chuo-ku, Niigata 951-8514, Japan	Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis: a 24-month prospective multicenter cohort study.	J Periodont Res. in press.
195	Nakajima T, Okui T, Ito H, Nakajima M, Honda T, Shimada Y, Tabeta K, Akazawa K, Yamazaki K	Division of Dental Educational Research Development, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Microbiological and clinical effects of sitafloxacin and azithromycin in periodontitis patients receiving supportive periodontal therapy.	Antimicrob Agents Chemother. 60(3): 1779-1787, 2016.
196	Yoshida N, Yoshida K, Ohkura N, Takei E, Edanami N, Oda Y, Hosoya A, Nakamura H, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontic, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Correlation between fibrillin-1 degradation and mRNA downregulation and myofibroblasts differentiation in cultured human dental pulp tissue.	J Histochem Cytochem 63(6): 438-448, 2015
197	Han L, Kodama S, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontic, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Evaluation of calcium-releasing and apatite-forming abilities of fast-setting calcium silicate-based endodontic materials.	Int Endod J 48(2): 124-130, 2015
198	Han L, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontic, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Dentin tubule occluding ability of dentin desensitizers.	Am J Dent 28(2): 90-94, 2015
199	Han L, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontic, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Anion extract obtained from mineral trioxide aggregate induced dentin remineralization and dentinal tubule occlusion in artificially demineralized bovine dentin.	Am J Dent 29(3): 166-170, 2016

小計6件

200	SakaueY, DomonH, OdaM, TakenakaS, KuboM, FukuyamaY, Okijit, TeraoY	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontic, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Anti-biofilmandbactericidal effects of Magnolia bark-derived magnolol and honokiol on Streptococcus mutans.	Microbiol Immunol 60(1): 10-16, 2016.
201	Kitami M	Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prolonged Survival of Transplanted Osteoblastic Cells Does Not Directly Accelerate the Healing of Calvarial Bone Defects	J Cell Physiol. 2016 Sep;231(9):1974-82
202	Takano R	Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Correlation Between Stress Distributions and Biological Reactions in Bone Surrounding Implants That Support Cantilevers in Supraocclusal Contact in Rats	Implant Dent. Apr;25(2):204-13. 2016
203	Kaku M	Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Mechanical Loading Stimulates Expression of Collagen Cross-Linking Associated Enzymes in Periodontal Ligament	J Cell Physiol. 2016 Apr;231(4):926-33
204	Kaku M	Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Cell-based bone regeneration for alveolar ridge augmentation--cell source, endogenous cell recruitment and immunomodulatory function	J Prosthodont Res. Apr;59(2):96-112. 2015
205	Yosuke A	Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3beta enhance osteoclastogenesis	Biochemistry and Biophysics Reports. 5:253-258. 2016
206	Nagasawa M	Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Topography Influences Adherent Cell Regulation of Osteoclastogenesis	J Dent Res 95(3):319-26, 2016
207	Kawasaki K	Division of Oral Anatomy, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Expression of Sox genes in tooth development.	Int J Dev Biol. 59(10-12): 471-8, 2015

208	Tetsuo Hotta	Operation Center, Niigata University Medical and Dental Hospital	A new concept of operating room stratification	IFHE Digest 2015 1(1): 57-59.
209	Watanabe T, Sekine M, Enomoto T, Baba H.	Division of Anaesthesiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The utility of anatomic diagnosis for identifying femoral nerve palsy following gynecologic surgery : Case Report	J Anesth. 2016 Apr;30(2):317-9. Epub 2015 Dec 11.
210	Tetsuo Kobayashi et al.	General Dentistry and Clinical Education Unit	Host Responses in the Link between Periodontitis and Rheumatoid Arthritis.	Curr Oral Health Rep. 2(1): 1-8, 2015.
211	Shimada A, Kobayashi T, et al.	Division of Periodontology, General Dentistry and Clinical Education Unit	Expression of anti-Porphyrromonas gingivalis peptidylarginine deiminase immunoglobulin G and peptidylarginine deiminase-4 in patients with rheumatoid arthritis and periodontitis.	J Periodontal Res. 51(1): 103-111, 2016.
212	Tetsuo Kobayashi et al.	Division of Periodontology, General Dentistry and Clinical Education Unit	Interleukin-6 receptor inhibitor tocilizumab ameliorates periodontal inflammation in patients with rheumatoid arthritis and periodontitis as well as tumor necrosis factor inhibitors.	Clinical and Experimental Dental Research. 1(2): 63-73, 2016
213	Ogawa S, Hoshina H, Nakata K, Yamada K, Uematsu K, Kawase T, Takagi R, Nagata M:	Oral Implant Clinic, Niigata University Medical and Dental Hospital	High resolution three-dimensional computed tomography analysis of the clinical efficacy of cultured autogenous periosteal cells in sinus lift bone grafting.	Clinical Implant Dentistry and Related Research 2015 DOI: 10.1111/cid.12356

小計6件
合計213件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	南野 徹	循環器内科	慢性炎症制御による加齢関連疾患治療の展望 Inflammagingと加齢関連疾患	別冊 Bio Clinica: 慢性炎症と疾患 2015; 4: 6-7
2	南野 徹	循環器内科	こむら返りから始まる下肢虚血の診断と治療	Medical Practice 2015; 32: 1545.
3	南野 徹	循環器内科	血管内皮細胞P53の抑制は食餌性肥満における代謝異常を改善する	代謝異常治療研究基金研究業績集 2015; 21-30.
4	南野 徹	循環器内科	総論 老化制御のメカニズム解明と加齢関連疾患の治療方策	メディカル・サイエンス・ダイジェスト 2015; 41: 6-7.
5	清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	褐色脂肪とアンチエイジング	Anti Aging Medicine 2015; 11: 541-545.
6	清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	老化疾患における血管代謝ニッシュの変容と臓器記憶の形成	血管医学 2015; 16: 353-357.
7	若杉 嵩幸, 吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	心臓のアンチエイジング 細胞老化・炎症と心臓のアンチエイジング	Anti Aging Medicine 2015; 11: 524-528.
8	勝海 悟郎, 清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	心不全や糖尿病における, 脂肪, 心・血管老化の意義	細胞 2015; 47: 495-498

小計8件

9	勝海 悟郎, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	心血管疾患・肥満・糖尿病におけるSASPの役割	細胞工学 2015; 34: 1141-1145.
10	勝海 悟郎, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	海外文献紹介	Angiology Frontier 2015; 14: 150-153.
11	池上龍太郎, 清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	心不全と老化	最新医学 別 冊 診断と治 療のABC 106 心不全 2015; 56-57.
12	池上龍太郎, 南野 徹	循環器内科	AGING SCIENCE	Anti Aging Medicine 2015; 11: 112-114.
13	萱森 裕美, 清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	慢性炎症と疾病	老化による炎 症と心血管疾 患 2015; 64: 543-546.
14	林 由香, 吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	老化とバイオマーカー (第10 回) 脂肪老化とバイオマー カー	Anti-aging Science 2015; 7: 55- 60.
15	萱森 裕美, 南野 徹	循環器内科	Notchシグナルの阻害により白色 脂肪組織の褐色化が促進され, 肥満が軽減する 海外文献 紹介	Angiology Frontier 2015; 70-71.
16	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	心電図ST上昇を考える J波症 候群 J波症候群の原因遺伝子	心電図 2015; 34: 352-359.
17	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	【循環器疾患と分子遺伝学】 Brugada症候群, 早期再分極症 候群, 特発性心室細動の遺伝的 背景	循環器内科 2015; 77: 353-359

小計9件

18	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	遺伝性不整脈の治療戦略 カテコラミン感受性多形性心室頻拍(CPVT)の特徴と治療戦略	心電図 2015; 35: 86-94.
19	池主 雅臣, 齋藤 修, 奥田 明子	循環器内科	鼓動のリズムバランスを感じ診る	Therapeutic Research 2015; 36: 863-867.
20	長谷川裕紀, 和泉 大輔, 大槻 総, 八木原伸江, 佐藤 光希, 小澤 拓也, 渡部 裕, 池主 雅臣, 南野 徹	循環器内科	高血圧性心肥大で経過観察中に持続性心室頻拍を発症し蘇生された1例	心臓 2015; 47: 38-43.
21	小幡 裕明, 南野 徹, 上原 彰史, 渡邊 恵, 山口 兼司, 宮坂めぐ美, 和泉 由貴, 鈴木 順夫, 和泉 徹	循環器内科	独歩リハビリと心臓リハビリの関わり	心臓リハビリテーション 2015; 20: 308-312.
22	池上龍太郎, 小澤 拓也, 南野 徹	循環器内科	海外文献紹介 末梢循環障害	Angiology Frontier 2015; 12: 67-71.
23	尾崎 和幸, 保坂 幸男, 土田 圭一, 高橋 和義, 小田 弘隆	循環器内科	当院における閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術の長期成績	新潟市民病院医誌 2015; 36: 25-31.
24	南野 徹	循環器内科	機能性関与成分データ集 循環器領域	機能性表示食品DATA BOOK メディカルレビュー社 2015; 11: 32-35
25	南野 徹, 須田 将吉	循環器内科	虚血肢の再生治療	再生医療用語ハンドブック メディカルトリビューン 2015; 85.

小計8件

26	清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	セマフォリンを介した新しい脂 肪炎症の機序 Annual review	糖尿病・代 謝・内分泌 2015; 165-169
27	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	細胞老化と老化関連疾患	第3版アンチエ イジング医学 の基礎と臨床 メジカル ビュー社 2015; 40-41.
28	須田 将吉, 吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	疾患モデルの作製と利用	脂質代謝異常 と関連疾患 上 巻—LIC 2015; 13: 131-136.
29	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	血管と血小板	新・血栓止血 血管学 金芳 堂 2015; 9: 96-102.
30	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	細胞医学の理解—細胞老化とエ イジング	第3版アンチエ イジング医学 の基礎と臨床 メジカル ビュー社 2015; 3: 69- 70.
31	和泉 大輔, 大槻 総	循環器内科	治療における最近の新薬の位置 づけ(薬効別)～新薬の広場～ 抗不整脈薬	新薬展望2015 医薬ジャーナ ル 2015; 51: 480-487.
32	和泉 大輔, 南野 徹	循環器内科	治療における最近の新薬の位置 づけ(薬効別)～新薬の広場～ 抗凝固薬・抗血小板薬	新薬展望2015 医薬ジャーナ ル 2015; 51: 465-473.
33	池主 雅臣	循環器内科	第1章洞不全症候群	不整脈診療ク リニカルクエ スション 診 断と治療社 2015; 4-8.

小計8件

34	池主 雅臣	循環器内科	心臓突然死の予防	今日の臨床サポート エルゼビア・ジャパン2015年update 第2版
35	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	不整脈に対する薬物治療の現状と未来	不整脈治療update 医薬ジャーナル社2015; 4: 157-163.
36	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	第Ⅲ章-1. QT 短縮症候群の定義～ QT 間隔の診断基準～	不整脈症候群～遺伝子変異から不整脈治療を捉える～南光堂 2015; 42-44.
37	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	第Ⅲ章-2. QT 短縮症候群の臨床像～発作の危険因子と心電図所見	不整脈症候群～遺伝子変異から不整脈治療を捉える～南光堂 2015; 45-47.
38	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	第Ⅲ章-3. QT 短縮症候群の遺伝子診断～遺伝子診断の有用性～	不整脈症候群～遺伝子変異から不整脈治療を捉える～南光堂 2015; 48-51.
39	佐藤 光希, 南野 徹	循環器内科	症例提示 (Column) QT 短縮症候群	不整脈症候群～遺伝子変異から不整脈治療を捉える～南光堂 2015; 58-60.
40	田中 孔明, 南野 徹	循環器内科	心疾患合併例における高血圧治療高血圧治療update-最新の治療動向-	合併症・ライフステージ別高血圧治療日本臨床2015; 73: 1871-1875.
41	高橋 良光、風間順一郎、 中村 藤夫、生駒 俊和、 山本 卓、成田 一衛、 追手 巍	腎・膠原病内科学	ブタ血液および静脈血管を用いたバスキュラーアクセスカテーテルに起因するへばりつき現象の評価	日本急性血液浄化学会雑誌6(1): 29-34, 2015

42	今井 直史、西 慎一、 高橋 香、伊藤 由 美、吉田 一浩、河野恵美 子、田崎 正行、中川 由 紀、斎藤 和英、高橋 公 太、成田 一衛	腎・膠原病内科学	Pentraxin 3発現の、抗体関連 型拒絶反応発症 ABO血液型不適 合移植腎における意義	日本臨床腎移 植学会雑誌 3(1): 62-67, 2015
43	和田 真一	生体機能調節医学専攻腎膠原病 内科学分野(第二内科)	家族性IgA腎症における糖鎖不 全IgA1の臨床的意義	新潟医学会雑 誌 127(9): 373-381, 2015
44	張 仁美	生体機能調節医学専攻臨床感染 制御学分野	日本人血液透析患者に対するレ ボフロキサシン500mg投与後の 血中濃度の検討	新潟医学会雑 誌 129(3): 105-112, 2015
45	真島 一郎、清野 洋、 藤村 健夫、清水 夏恵、 村上 修一、成田 一衛、 菊地 利明、田中 裕、 村松 芳幸、村松公美子、 三浦 哲、荒川 正昭、 三宮 博己	保健管理センター	若年アスリートの睡眠に影響す る要因について	不眠研究2015 : 41-44, 2015
46	安住 里映, 横山 純二, 本 田 穰, 山際 訓, 寺井 崇 二, 小向 慎太郎, 大橋 泰 博, 松澤 夏未, 小林 和明, 橋立 英樹, 渋谷 宏行	消化器内科	経肛門的小腸バルーン内視鏡が 診断に最も有用であった成人 メッケル憩室出血の3例	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 31巻1 号 Page64- 69(2015. 05)
47	荒生 祥尚, 小林 正明, 橋 本 哲, 水野 研一, 竹内 学, 本田 博樹, 影向 一美, 高村 昌昭, 佐藤 祐一, 寺 井 崇二	消化器内科	早期胃癌に対するESD後に発生 した遅発性穿孔の検討	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 31巻1 号 Page27- 32(2015. 05)
48	七里佳代	精神医学, 保健管理センター	気分障害に焦点づけた学生メン タルヘルス検診の有用性につい て.	新潟医学会雑 誌 129(5): 256-262, 2015.
49	横山裕一	精神医学	進行性核上性麻痺とアストロサ イトのタウ病理学: 40連続剖検 例における臨床病理学的検討.	新潟医学会雑 誌 129(9): 505-518, 2015.

小計8件

50	細貝亮介, 高地貴行, 吉田咲子, 岩渕晴子, 今村勝, 申将守, 笠原靖史, 齋藤昭彦, 佐野正和, 西山健一, 阿部英輔, 青山英史, 吉村淳一, 今井千速.	小児科	全脳脊髄照射を要する小児脳腫瘍における術後2週間以内のG-CSF単独自家末梢血幹細胞採取.	日本小児血液・がん学会雑誌 52巻2号: 133-138, 2015
51	山田剛史	小児科	腹膜透析を導入し在宅管理に移行し得た, 左心低形成症候群を合併した低形成腎の1例	日本小児腎不全学会雑誌
52	佐々木直, 楡井淳, 長崎啓祐, 佐藤英利, 小川洋平, 伊藤末志, 長崎啓祐.	小児科	過成長、骨年齢促進を呈した乳幼児期発症Basedow病の2例.	日本甲状腺学会雑誌 6(1):61-64, 2015
53	若井 俊文	消化器・一般外科	肝胆膵外科診療の最前線(解説)	日本癌治療学会誌 50(2): 375-388, 2015.
54	皆川 昌広, 高野 可赴, 滝沢 一泰, 佐藤 良平, 仲野 哲矢, 廣瀬 雄己, 三浦 宏平, 坂田 純, 小林 隆, 若井 俊文	消化器・一般外科	【創閉鎖法の進歩】 肝胆膵領域手術での再切開創に対する真皮縫合の効果	日本外科感染症学会雑誌 12(3): 209-216, 2015.
55	亀山 仁史, 島田 能史, 中野 麻恵, 中野 雅人, 若井 俊文	消化器・一般外科	【最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-】 大腸癌の浸潤・転移 大腸癌骨転移・脳転移の臨床的特徴	日本臨床 73増刊4: 179-182, 2015.
56	坂田 純, 田島 陽介, 廣瀬 雄己, 須藤 翔, 三浦 宏平, 丸山 智宏, 大橋 拓, 永橋 昌幸, 滝沢 一泰, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	【リンパ節郭清up-to-date】 胆嚢癌	消化器外科 38(9): 1313-1321, 2015.
57	坂田 純, 若井 俊文	消化器・一般外科	胆道疾患 胆嚢癌(総説)	消化器外科学 レビュー 2015 16: 116-121, 2015.

小計8件

58	坂田 純, 若井 俊文, 皆川 昌広, 小林 隆, 滝沢 一泰, 三浦 宏平, 永橋 昌幸, 小杉 伸一	消化器・一般外科	【わかりやすい消化器癌治療の コンセンサス】胆道癌の診断 と治療 胆道癌の外科治療 胆 嚢癌の外科治療	消化器外科 38(5):782- 786, 2015.
59	坂田 純, 若井 俊文, 皆川 昌広, 小林 隆, 滝沢 一泰, 三浦 宏平, 岡部 康之, 廣瀬 雄己, 永橋 昌幸, 龜山 仁史, 小杉 伸一, 小山 諭	消化器・一般外科	【進展度に応じた胆嚢癌の治療 戦略】リンパ節転移からみた 胆嚢癌の治療成績	胆と脾 36(1):55- 59, 2015.
60	坂田 純, 若井 俊文, 皆川 昌広, 小林 隆, 滝沢 一泰, 三浦 宏平, 岡部 康之, 廣瀬 雄己, 永橋 昌幸, 龜山 仁史, 小杉 伸一, 小山 諭	消化器・一般外科	【胆道癌外科切除 再発防止の ストラテジー】術中戦略 リ ンパ節郭清範囲 胆嚢癌	臨床外科 70(1):68- 72, 2015.
61	神田 達夫, 石川 卓, 小杉 伸一, 間島 寧興, 若井 俊文	消化器・一般外科	総説 術前補助療法の臨床的意 義と今後の方向性 GISTに対す るneoadjuvant chemotherapy	臨床外科 70(7):860- 865, 2015.
62	高野 可赴, 坂田 純, 若井 俊文	消化器・一般外科	胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)の診 断と治療 Up-to-date	Annual Review 消化器 2016 竹原徹郎, 金 井隆典, 下瀬 川徹, 島田光 生 編, 中外 医学社, 東 京, p231- 236, 2015.
63	木戸 知紀, 島田 能史, 中野 麻恵, 中野 雅人, 龜山 仁史, 野上 仁, 若井 俊文, 岩渕 三哉	消化器・一般外科	同一病巣内に神経内分泌腫瘍と 腺癌の成分を認めた径8mmの直 腸腫瘍の1例	日本大腸肛門 病学会雑誌 68(1):55- 59, 2015.
64	坂本 武也	消化器・一般外科	参加施設の規模を問わない地域 医療連携ネットワークシステム の構築	新潟医学会雑 誌 129 (4):187- 198, 2015.
65	佐藤 洋	消化器・一般外科	切除不能・再発大腸癌における NAD (P) H: quinone oxidoreductase 1発現の臨床的 意義	新潟医学会雑 誌 129(6): 300-308, 2015.

小計8件

66	田島 陽介, 岡部 康之, 立石 善隆, 西山 晃史, 尾関百合子, 亀山 仁史, 松本 壮吉, 若井 俊文	消化器・一般外科	プロバイオティクス医療を視野 に入れたヨーグルトの抗菌効果 の検討	新潟医学会雑 誌 129(10) : 593-600, 2015.
67	長谷川 美樹	消化器・一般外科	適切な症例選択と治療により乳 房温存手術後の局所再発は制御 可能である	新潟医学会雑 誌 129(8) : 433-440, 2015.
68	丸山 智宏	消化器・一般外科	pT1b胆嚢癌の手術成績：胆嚢摘 出術と根治切除との比較	新潟医会誌 129(6) : 309-316, 2015.
69	丸山 智宏, 須田 和敬, 大竹 雅広	消化器・一般外科	急性虫垂炎保存的治療後の再燃 危険因子からみた待機的虫垂切 除術の適応	日臨外会誌 76(12) : 2863- 2868, 2015.
70	佐藤 良平, 滝沢 一泰, 油座 築, 相馬 大輝, 廣瀬 雄己, 森本 悠太, 三浦 宏平, 永橋 昌幸, 高野 可赴, 坂田 純, 亀山 仁史, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	化学放射線療法にて根治切除し 得た局所進行切除不能膵癌の1 例	癌と化学療法 42(12) : 2385- 2387, 2015.
71	下田 傑, 亀山 仁史, 中野 雅人, 島田 能史, 野上 仁, 若井 俊文	消化器・一般外科	単孔式腹腔鏡手術を行った Press Through Packageによる 小腸閉塞の1例	新潟医学会雑 誌 129(3) : 151-155, 2015.
72	細井 愛, 遠藤 和彦, 臼井 賢司	消化器・一般外科	鱈骨の胃壁穿通による肝膿瘍の 1例	日本腹部救急 医学会雑誌 35(4) : 503- 507, 2015.
73	三浦 宏平	消化器・一般外科	MHC確立ならびに遺伝子ノック アウト大動物を用いた同種・異 種移植前臨床実験 鹿児島大学 異種移植外科での経験.	今日の移植 28 : 87-90, 2015.
74	八木 寛, 山崎 俊幸, 岩谷 昭, 眞部 祥一	消化器・一般外科	下大静脈腫瘍栓を伴う大腸癌腎 転移に対して下大静脈合併切除 を行った1例	日本大腸肛門 病学会雑誌 68(7) : 501- 505, 2015.

小計9件

75	八木 寛, 山崎 俊幸, 岩谷 昭, 眞部 祥一	消化器・一般外科	両葉多発肝転移を伴う下行結腸癌に対しパニツムマブ+mFOLFOX6療法が奏効し肝切除が可能となった1例	癌と化学療法 42(1):109-112, 2015.
76	島田 哲也, 坂田 純, 山本 潤, 臼井 賢司, 内藤 哲也, 谷 達夫, 長谷川 潤, 島影 尚弘, 小林 隆, 若井 俊文	消化器・一般外科	化学療法施行後に根治切除し得た同時性肝転移を伴う十二指腸乳頭部癌の1例	癌と化学療法 42(12):1758-60, 2015.
77	森本 悠太, 平野健一郎, 田中 修二, 仲丸 司, 渡辺佳織里, 渡邊 玄, 味岡 洋一	消化器・一般外科	ステロイド内服中に発症した続発性結核性腹膜炎の1例	新潟医学会雑誌 128(11):603-608, 2014.
78	森本 悠太, 鈴木 晋, 金子 和弘, 佐藤 友威, 岡田 貴幸, 青野 高志, 武藤 一朗, 長谷川正樹	消化器・一般外科	左上肢麻痺で発症し急速な増大を示した小腸未分化癌の1例	新潟医学会雑誌 128(12):671-677, 2014.
79	森本 悠太, 金子 和弘, 鈴木 晋, 岡田 貴幸, 青野 高志, 長谷川正樹	消化器・一般外科	ステロイド内服中に腸結核穿孔から汎発性腹膜炎をきたした1例	外科 77(3):339-342, 2015.
80	森本 悠太	消化器・一般外科	肝内胆管癌におけるVimentinの発現と術後遠隔成績	新潟医学会雑誌 129(5):235-244, 2015.
81	石川 博補, 坂田 純, 相馬 大輝, 油座 築, 安藤 拓也, 廣瀬 雄己, 三浦 宏平, 辰田久美子, 大橋 拓, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 亀山 仁史, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	腎癌膵転移に対して膵を温存しつつ三度の膵切除を実施した1例	癌と化学療法 42(12):2254-2255, 2015.
82	石川 博補, 坂田 純, 廣瀬 雄己, 大橋 拓, 滝沢 一泰, 高野 可赴, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文	消化器・一般外科	肝外胆管癌に対する術前胆道ドレナージ法としての経皮経肝胆道ドレナージと内視鏡的ドレナージとの比較	新潟医学会雑誌 129(2):71-77, 2015.

小計8件

83	田村 博史, 島田 能史, 八木 亮磨, 田島 陽介, 岡村 拓磨, 中野 雅人, 石川 卓, 坂田 純, 小林 隆, 亀山 仁史, 小杉 伸一, 若井 俊文, 野上 仁, 丸山 聡, 瀧井 康公	消化器・一般外科	側方リンパ節転移陽性Stage IV 下部直腸癌の3例	癌と化学療法 42(12) : 2303- 2305, 2015.
84	八木 亮磨, 青野 高志, 鈴木 晋, 佐藤 友威, 岡田 貴幸, 長谷川正樹	消化器・一般外科	感染性心内膜炎による多発内臓 動脈病変を伴う右肝動脈瘤胆嚢 内穿破の1例	日本臨床外科学会雑誌 76(9) : 2130- 2135, 2015.
85	仲野 哲矢	消化器・一般外科	膝空腸吻合部ロストステント排 泄の検討	新潟医学会雑誌 129(8) : 441- 449, 2015.
86	仲野 哲矢, 遠藤 和彦, 小柳 英人, 石川 博補, 木戸 知紀, 皆川 昌広	消化器・一般外科	胆嚢出血に対する腹腔鏡下胆嚢 摘出術の1例	腹部救急医学会雑誌 35(6) : 805- 809, 2015.
87	仲野 哲矢, 塚原 明弘, 水木 亨, 池田 義之, 畠 山 悟, 丸田 智章, 田 中 典生, 小山俊太郎, 下 田 聡, 若木 邦彦	消化器・一般外科	小腸原発血管筋脂肪腫による小 腸重積症の1例	日本消化器外科学会雑誌 48(6) : 521- 526, 2015.
88	橋本 喜文, 鈴木 聡, 二瓶 幸栄, 大滝 雅博, 坂本 薫, 八木 亮磨, 城之前 翼, 永井 佑, 三科 武, 亀山 仁史, 市川 寛, 辰田久美子, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	緩和手術としての胃空腸バイパ ス手術の有用性	癌と化学療法 42(12) : 1559- 1560, 2015.
89	廣瀬 雄己, 坂田 純, 油座 築, 三浦 宏平, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 小林 隆, 亀山 仁史, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	混合型肝癌術後に孤立性大動脈 周囲リンパ節再発をきたした1 例	癌と化学療法 42(12) : 1860- 1862, 2015.

小計7件

90	大溪 隆弘, 亀山 仁史, 金子 和弘, 佐藤 友威, 鈴木 晋, 岡田 貴幸, 青野 高志, 武藤 一朗, 長谷川正樹, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌弘, 小杉 伸一, 黒崎 功, 若井 俊文	消化器・一般外科	mFOLFOXが奏効した下大静脈圧排を伴う大腸癌肝転移の長期生存例	癌と化学療法 42(12) : 2184-2186, 2015.
91	大溪 隆弘, 金子 和弘, 佐藤 友威, 鈴木 晋, 岡田 貴幸, 青野 高志, 武藤 一朗, 長谷川正樹, 若井 俊文	消化器・一般外科	食道癌術後再建胃管潰瘍穿孔により腹腔内膿瘍をきたした1例	新潟医学会雑誌 129(9) : 545-550, 2015.
92	堅田 朋大	消化器・一般外科	肝内胆管癌におけるRibonucleotide Reductase M1発現の臨床学的意義 Gemcitabine治療抵抗性	新潟医学会雑誌 129(1) : 21-28, 2015.
93	滝沢 一泰, 皆川 昌広, 廣瀬 雄己, 堅田 朋大, 須藤 翔, 田島 陽介, 中野 雅人, 小林 隆, 若井 俊文	消化器・一般外科	初回腹腔鏡手術後に発症した外傷性腹壁ヘルニアの1例	日本腹部救急医学会雑誌 35(4) : 477-482, 2015.
94	須藤 翔, 相馬 大輝, 廣瀬 雄己, 堅田 朋大, 齋藤 敬太, 三浦 宏平, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文	消化器・一般外科	PTBD瘻孔部に癌着床を認め術後腹壁再発をきたした下部胆管癌の1例	胆道 29(2) : 247-253, 2015.
95	須藤 翔, 富田 広	消化器・一般外科	盲腸が嵌頓したRichter型大腿ヘルニアの1例	日本臨床外科学会雑誌 76(1) : 141-145, 2015.
96	須藤 翔, 小林 隆, 廣瀬 雄己, 堅田 朋大, 滝沢 一泰, 若井 俊文	消化器・一般外科	心肺停止状態から救命し得た上部消化管造影検査後大腸穿孔によるバリウム腹膜炎の1例	日本腹部救急医学会雑誌 35(1) : 119-124, 2015.
97	須藤 翔, 亀山 仁史, 中野 雅人, 島田 能史, 野上 仁, 若井 俊文	消化器・一般外科	単孔式腹腔鏡補助下に切除した狭窄型虚血性小腸炎の1例	新潟医学会雑誌 129(1) : 38-44, 2015.

小計8件

98	小柳 英人, 市川 寛, 小杉 伸一, 番場 竹生, 羽入 隆晃, 平島 浩太郎, 石川 卓, 小林 隆, 皆川 昌広, 小山 諭, 若井 俊文	消化器・一般外科	術前CDDP/5-FU療法にて組織学的完全奏効が得られた食道癌の3例	癌と化学療法 42(4) : 497-501, 2015.
99	峠 弘治, 渡邊 直純, 白井 賢司, 榎本 剛彦, 濱 勇, 林 達彦	消化器・一般外科	遺伝性血管浮腫の1例	日本臨床外科学会雑誌 76 (7) : 1604-1608, 2015.
100	水木 亨, 島田 能史, 八木 寛, 田島 陽介, 中野 麻恵, 中野 雅人, 永橋 昌幸, 石川 卓, 坂田 純, 亀山 仁史, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 若井 俊文, 関根 正幸, 芹川 武大, 加嶋 克則, 榎本 隆之	消化器・一般外科	卵巣癌直腸浸潤により直腸間膜内リンパ節転移を来した1例	癌と化学療法 42(12) : 2300-2302, 2015.
101	山本 潤, 中野 雅人, 島田 能史, 亀山 仁史, 山田 沙季, 八木 亮磨, 辰田久美子, 田島 陽介, 岡村 拓磨, 中野 麻恵, 永橋 昌幸, 坂田 純, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	大腸癌肝転移、肺転移、腹膜播種の転移巣切除後長期生存した1例	癌と化学療法 42(12) : 1597-1599, 2015.
102	岩城 孝和, 小山 諭, 永橋 昌幸, 長谷川美樹, 利川 千絵, 土田 純子, 諸 和樹, 若井 俊文	消化器・一般外科	骨転移で判明した甲状腺濾胞癌の1例	新潟医学会雑誌 129(6) : 326-330, 2015.
103	庭野 稔之, 小山 諭, 永橋 昌幸, 長谷川美樹, 利川 千絵, 土田 純子, 若井 俊文, 小池 輝元, 橋本 毅久, 土田 正則	消化器・一般外科	胸骨縦切開を追加して切除し得た無症候性進行甲状腺癌の1例	新潟医学会雑誌 129(5) : 281-286, 2015.
104	阿部 馨, 亀山 仁史, 島田 能史, 山田 沙季, 相馬 大輝, 八木 亮磨, 三浦 宏平, 辰田久美子, 田島 陽介, 岡村 拓磨, 中野 麻恵, 中野 雅人, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	ドレナージ経路近傍に再発したフルニエ壊疽合併直腸癌の1例	癌と化学療法 42(12) : 2291-2293, 2015.

小計7件

105	阿部 馨, 亀山 仁史, 八木 亮磨, 中野 麻恵, 中野 雅人, 島田 能史, 若井 俊文	消化器・一般外科	肝硬変合併透析患者に発症した PTP誤飲による回腸穿通の1例	新潟医学会雑 誌 129(7) : 415-422, 2015.
106	安藤 拓也, 坂田 純, 丸山 智宏, 廣瀬 雄己, 岡部 康之, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 島田 能史, 石川 卓, 亀山 仁史, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 大坪 亜矢, 渡部 聡, 若井 俊文	消化器・一般外科	肺腺癌に対するGefitinib投与 中に発症した腸管囊腫様気腫症 の1例	癌と化学療法 42巻7号 Page847-849, 2015.
107	相馬 大輝, 三浦 宏平, 小林 隆, 石川 博補, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 坂田 純, 皆川 昌広, 小 杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	劇症肝炎に対する脳死肝移植の 1例	新潟医学会雑 誌 129巻4号 Page216-220, 2015.
108	土田 純子, 長谷川美樹, 小山 諭, 永橋 昌幸, 利川 千絵, 諸 和樹, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	超音波検査で描出困難な乳腺石 灰化病変に対し, 切除標本マン モグラフィが有用であった1 例	新潟医学会雑 誌 129(6) : 331-336, 2015.
109	諸 和樹	消化器・一般外科	乳房センチネルリンパ節転移陽 性例における非センチネルリン パ節転移の危険因子	新潟医学会雑 誌 129(5) : 245-255, 2015.
110	諸 和樹, 皆川 昌広, 高野 可赴, 滝沢 一泰, 坂田 純, 小林 隆, 若井 俊文	消化器・一般外科	膵内副脾に生じた類上皮嚢胞の 1例	新潟医学会雑 誌 129(7) : 401-407, 2015.
111	諸 和樹, 永橋 昌幸, 土田 純子, 辰田久美子, 利川 千絵, 長谷川美樹, 萬羽 尚子, 五十嵐麻由 子, 滝沢 一泰, 中野 雅 人, 番場 竹生, 島田 能 史, 石川 卓, 坂田 純, 亀山 仁史, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸 一, 小山 諭, 若井 俊 文	消化器・一般外科	術前化学療法による薬剤性肺障 害のためハルステッド手術を選 択した局所進行乳癌の1例	癌と化学療法 42(12) : 1803- 1805, 2015.
112	山田 沙季, 島田 能史, 八木 亮磨, 中野 麻恵, 中野 雅人, 亀山 仁史, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	壁内転移を有した直腸癌の1例	新潟医学会雑 誌 129(7) : 409-414, 2015.

小計8件

113	油座 築, 皆川 昌広, 高野 可赴, 三浦 宏平, 滝沢 一泰, 坂田 純, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	子宮頸癌術後に生じた外腸骨動脈による絞扼性イレウスの1例	新潟医学会雑誌 129(8) : 450-455, 2015.
114	油座 築, 坂田 純, 相馬 大輝, 安藤 拓也, 廣瀬 雄己, 石川 博補, 三浦 宏平, 辰田久美子, 大橋 拓, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 亀山 仁史, 小林 隆, 小杉 伸一, 若井 俊文	消化器・一般外科	十二指腸乳頭部原発印環細胞癌の1例	癌と化学療法 42(12) : 1767-1769, 2015.
115	酒井 剛, 北見 智恵, 河内 保之, 川原聖佳子, 牧野 成人, 西村 淳	消化器・一般外科	遊走脾捻転に伴う脾静脈閉塞により胃静脈瘤をきたした1例	日本臨床外科学会雑誌 76(6), 1505-1508, 2015.
116	榛沢 和彦	心臓血管外科	下肢深部静脈血栓症・肺塞栓症	災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン (日本循環器学会/日本高血圧学会/日本心臓病学会合同ガイドライン) p60-66, 2015
117	青木 賢治	呼吸循環外科学分野	逆行性A型大動脈解離に対するステントグラフト内挿術の初期中期成績の検討	新潟医学会雑誌 129(7) : 382-395, 2015
118	白石 修一, 高橋 昌, 渡邊 マヤ, 杉本 愛, 土田 正則	呼吸循環外科学分野	Posterior TGA型両大血管 右室起始症に対する動脈スイッチ術 (Jatene原法) と心室内血流路作成の一例 [Arterial Switch Operation (Jatene Procedure) for Posterior TGA (Transposition of the Great Arteries) Type Double Outlet Right Ventricle]	日本心臓血管外科学会雑誌 44(1) : 21-24, 2015
119	岡本 竹司	心臓血管外科	同時期に瘤内コイル塞栓術を行うTEVAR	Valiant症例集 (Medtronic社内資料)

小計7件

120	小池 輝元, 佐藤 裕喜, 佐藤征二郎, 岡本 竹司, 橋本 毅久, 榛沢 和彦, 土田 正則	呼吸循環外科	動脈瘤合併肺癌症例に対するステントグラフト内挿術・肺切除同時手術の経験	胸部外科 68(4):293-297, 2015
121	河内俊太郎, 金井朋毅, 川瀬大央, 柴田 実, 松田健	機能再建医学講座整形外科学分野	感染と軟部組織欠損を生じた前腕開放骨折の1例	新潟整外研究会誌 31 (1); 37-42, 2015
122	近藤直樹, 藤澤純一, 金井朋毅, 遠藤直人	機能再建医学講座整形外科学分野	外傷を契機として生じた両側破壊性肘関節症の1例	新潟整外研究会誌 30 (2);155-162, 2014
123	山際浩史, 谷藤 理, 古賀寛, 穂苅 翔, 山中佳代, 遠藤 直人	機能再建医学講座整形外科学分野	外側下膝動脈からの出血による特発性膝関節血症2例の治療経験	東北整災誌 58; 90-93, 2015.
124	村上玲子、遠藤直人、宮坂大、今井教雄	機能再建医学講座整形外科学分野	新潟県内の乳児股関節検診の実施状況	新潟整外研究会誌 31 (1); 27-30, 2015
125	宮田昌幸	形成・再建外科	瞼裂狭小症に対する手術方法	日本医事新報
126	西野和彦	脳研究所脳神経外科	Onyx embolization後の脳動静脈奇形摘出術の要点	脳卒中の外科
127	長谷川仁	脳研究所脳神経外科	MO. MA Ultraを活用した頸動脈ステント留置術標準的手技	脳血管内治療の進歩2015: 96-101, 診断と治療社2015
128	西山健一	脳研究所脳神経外科	水頭症、脳脊髄液減少症	臨床
129	長谷川仁	脳研究所脳神経外科	Enterprise VRD 誘導・留置の基本とコツ	脳血管内治療ブラッシュアップ

小計10件

130	森田健一	脳研究所脳神経外科	V. 各論-外科治療, 血管内治療の適応決定- 4. 海綿状血管腫 b. 画像診断 脳神経 外科 診療 プラクティス 5	無症候性脳血管障害を解く
131	西山健一	脳研究所脳神経外科	小児の水頭症. 小児神経外科教育セミナー2015.	小児神経外科教育セミナー2015.
132	西山健一	脳研究所脳神経外科	特集 小児脳神経外科の最新知見 小児水頭症に対する外科治療の最前線	脳神経外科ジャーナル
133	伊藤 靖	脳研究所脳神経外科	鼻口耳出血 脳血管内治療レファレンス	脳血管内治療レファレンス
134	長谷川仁	脳研究所脳神経外科	脳動脈瘤治療用頭蓋内ステント(Closed-cell type) 誘導・留置の基本と応用	脳血管内治療の進歩2016 治療困難な脳動脈瘤-どう治療するか?~脳血管内治療ブラッシュアップセミナー- 2015
135	藤川大基	皮膚科	抗EGFR抗体による皮膚障害に対する予防的介入の効果についての検討	日皮会誌, 125(3):427-434(2015)
136	有波 浩	皮膚科	Erdheim-Chester病と考えられた1例	臨皮, 69(10):735-741(2015)
137	丸山涼子	皮膚科	Mycobacterium mageritenseによる皮膚感染症の1例	臨皮, 69(10):722-726(2015)
138	中川由紀、池田正博、田崎正行、齋藤和英、高橋公太、相川 厚、菊池雅美、富田善彦	腎泌尿器病態学分野分子腫瘍学分野	わが国における献腎移植ドナーの基準と限界点の検討	日本臨床腎移植学会雑誌 3(2):189-194, 2015

小計9件

139	田崎正之	腎泌尿器病態学分野分子腫瘍学分野	海外留学体験記 2年間の海外留学を経て得たもの	日本臨床腎移植学会雑誌 3(2):297-298, 2015
140	羽場知己、小池 宏、加藤 晴朗	腎泌尿器病態学分野分子腫瘍学分野	尿路直腸瘻の治療法-膀胱瘻の有用性-	泌尿器外科 28(4)421-430 2015
141	富田善彦	腎泌尿器病態学分野分子腫瘍学分野	特集 泌尿器癌に対する免疫療法 の現状と新展開 新規免疫療法 (Immune checkpoint inhibitor) -腎細胞癌を中心に-	泌尿器外科 28(7):1157-1163, 2015 7月号
142	中川由紀、齋藤和英、田崎正行、富田善彦	腎泌尿器病態学分野分子腫瘍学分野	特集 知っておきたい腎移植の 最新情報-基礎から臨床まで II. ドナー腎採取術 脳死下臓器 提供における腎採取術の実際	臨床泌尿器科 69(13):1110-1116, 2015 12月
143	松岡 尚気, 長谷部 日, 寺島 浩子, 佐藤 弥生, 上田 恵理子, 佐々木 亮, 福地 健郎	生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	抗VEGF薬の硝子体内注射と後部硝子体剥離の発症頻度	眼科臨床紀要 (1882-5176)8 巻10号 Page730-733(2015.10)
144	中野 英之, 長谷部 日, 松岡 尚気, 寺島 浩子, 佐々木 亮, 上田 恵理子, 佐藤 弥生, 福地 健郎	生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	網膜色素線条に脈絡膜新生血管を合併した家族例	臨床眼科 (0370-5579)69 巻7号 Page1057-1061(2015.07)
145	中野 里絵子, 松岡 尚気, 松田 英伸, 長谷部 日, 酒井 康弘, 福地 健郎	生体機能調節医学専攻感覚統合医学講座視覚病態学分野	新潟大学における急性網膜壊死症例の検討	臨床眼科 (0370-5579)69 巻7号 Page981-985(2015.07)
146	奥村仁, 石岡孝二郎, 上田裕子, 野村智幸	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	多発血管炎性肉芽腫症における鼻副鼻腔CT, 鼻粘膜生検の有用性の検討	日鼻誌 54 (1):1-6. 2015
147	宮尾益道・森田由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	原因不明一側性末梢前庭障害の検討 —内側型高位頸静脈球との関連—	Equilibrium Res Vol. 74(4):257-265. 2015

小計9件

148	山本裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	真珠腫進展度分類の活用法 —活用の現況—	Otol Jpn 25(2): 160- 163. 2015
149	植木雄志、金丸明子、正道 隆介、山本裕、高橋姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	セツキシマブ併用放射線治療中 に血小板減少をきたした高齢下咽 頭癌例	耳鼻臨床 108(1): 63~ 69. 2015
150	植木雄志、松山洋、森田由 香、高橋邦行、山本裕、高 橋姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭蓋底骨髓炎 5 症例の検討	日耳鼻118: 40-45. 2015
151	森香織、石岡孝二郎、山崎 洋大、植木雄志、窪田和、松山 洋、山本裕、堀井新、高橋 姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	気管に局限した再発性多発軟骨 炎の 1 例	日耳鼻118: 1150-1154. 2015
152	岸部幹、吉田尚弘、立山香 織、森田由香、原渕保明	耳鼻咽喉科	OMAAVの臨床像—全国アンケー ト調査から—	Otol Jpn 25(2): 183- 188. 2015
153	森田由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	OMAAVの臨床像—顔面神経麻 痺、肥厚性硬膜炎、再燃例の検 討—	Otol Jpn 25(2): 196- 201. 2015
154	松田圭二、東野哲也、小島 博己、小森学、山本裕、森 田由香、大田隆之、長谷川 賢作	耳鼻咽喉科	中耳真珠腫進展度分類 (2010) の実用性評価—施設間比較—	Otol Jpn 25(2): 174- 178. 2015
155	正道隆介、松山洋、山崎洋 大、富樫孝文、植木雄志、 岡部隆一、山本裕、高橋 姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭に生じた類基底細胞扁平上 皮癌の1例	頭頸部癌 41(1): 51-56. 2015
156	大島伸介、大島伸介、山本 裕、森田由香、高橋邦行、 高橋姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	鼓室形成術Ⅲ型、Ⅳ型の聴力成 績 —新潟大学の30年間の 推移—	Otol jpn24(5): 748-754. 2014
157	馬場洋徳、相澤直孝、高橋 奈央、土屋昭夫、高橋姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	小児睡眠呼吸障害に対するアデ ノイド口蓋扁桃摘出術の成績 : 手術前後のPSGによる検討	口咽科28(2): 205-209. 2015

小計10件

158	尾股丈、松山洋、正道隆介、山崎洋大、植木雄志、山崎恵介、山本裕、高橋姿	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭頸部領域に再発を繰り返した類上皮血管内皮腫の1例	頭頸部外科 25(1): 55-60. 2015
159	堀井新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	心因性めまいの分類（バラニー学会案）と治療	耳鼻臨床 108(11): 821-827. 2015
160	塩谷基、八木琢也、佐藤卓、高野徹、吉村宣彦、青山英史	放射線医学分野	膵原発腫瘍と鑑別を要したPeripancreatic Schwannomaの1例	臨床放射線 60: 1773-1777, 2015
161	小島 拓, 芳澤享子, 小野由起子, 倉部華奈, 加納浩之, 齊藤 力, 小林正治	顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	顎矯正手術後に精神障害が発現した3例.	日顎変形会誌 25(3): 234-240頁, 2015.
162	芳澤享子, 新美奏恵, 三上俊彦, 船山昭典, 鈴木一郎, 小林正治	顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科において, 粘膜・皮膚疾患に分類された外来初診患者の臨床統計的検討.	新潟歯会誌 45(2): 67-72頁, 2015.
163	西川 敦, 児玉泰光, 永井孝宏, 田村 隆, 高野 操, 内山正子, 田邊嘉也, 高木律男	顎顔面口腔外科学分野	口腔外科手術における予防的抗菌薬適正使用への取り組み	環境感染誌
164	山田瑛子, 池田順行, 小玉直樹, 齋藤 功, 高木律男	顎顔面口腔外科学分野	移植歯を含む歯の矯正移動により歯列および歯槽骨の回復をはかった小児石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例	小児口腔外科学会雑誌
165	池田順行, 星名秀行, 小野和宏, 小玉直樹, 勝見祐二, 山田一穂, 高木律男	顎顔面口腔外科学分野	インプラント治療による上顎洞に関連した合併症の臨床的検討	顎顔面インプラント誌
166	照光 真, 瀬尾 憲司, 松澤 等, 稲 有史, 中村 達雄, 茂野 啓示, 渡辺 将樹, 鈴木 清隆, 中田 力	歯科麻酔学分野	三叉神経障害に対するPGA-C tubeによる生体内再生治療の高分解能神経MRI を用いた予後評価	Peripheral Nerve 2015; 26(1): 71-79

小計9件

167	田中 裕, 村松芳幸, 瀬尾憲司	歯科麻酔科	Patient Health Questionnaire (PHQ-9) を用いた口腔顔面痛患者の心身医学的検証	慢性疼痛, 34(1):69-74, 2015
168	齋藤 功	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを併用した審美的治療ーガミースマイルの改善に焦点を当ててー.	歯科審美学会雑誌 28(2): 87, 2016.
169	竹山雅規, 福井忠雄, 小栗由充, 越知佳奈子, 中川麻里, 焼田裕里, 齋藤 功	矯正歯科	矯正用インプラントアンカーのタイプ別適用について考察するー大白歯を圧下した2症例をもとにー.	甲北信越矯歯誌23(1): 34-42, 2015.
170	葭原明弘	予防歯科	成人における栄養と歯周病を中心とする歯科疾患との関連(総説)	新潟歯学会誌, 45(1): 1-6, 2015.
171	濃野 要	予防歯科	パイン含有ゲル併用舌清掃による舌苔除去効果.	口腔衛生会誌, 66(1): 9-14, 2016
172	韓 臨麟, 興地隆史	う蝕学分野	S-PRG フィラー抽出液の人工脱灰象牙質に対する象牙細管封鎖効果.	日歯保存誌 58(1):17-25, 2015.
173	枝並直樹, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 日向 剛, 吉羽永子, 興地隆史	う蝕学分野	ラット皮下組織における 4-META 含有レジン系シーラーの生体親和性.	日歯保存誌 59(1): 65-73, 2016.
174	末山有希子, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史	う蝕学分野	lipopolysaccharide 刺激による幹細胞の CD146 mRNA 発現への影響.	日歯保存誌 58(5): 282-289, 2015.
175	山本信一, 韓 臨麟, 興地隆史	う蝕学分野	S-PRG フィラー抽出液によるヒト象牙質切断面の細管封鎖と元素の移行.	日歯内療法誌 37(1): 31-36, 2016.
176	川崎真依子	生体歯科補綴学分野	トレハロースタブレットの口腔保湿に対する効果の分析	新潟歯学会雑誌第45巻第2号 13-20 2015

小計10件

177	小野高裕, 堀 一浩, 藤原茂弘, 皆木祥伴	包括歯科補綴学分野	口腔機能の客観的評価としての舌圧測定 その意義、開発から展望まで 咀嚼・嚥下における舌圧の意味と可能性	日補綴会誌 8(1): 46-51, 2016.
178	小野高裕, 堀 一浩, 藤原茂弘	包括歯科補綴学分野	嚥下機能の評価法の検証 舌圧検査 新しい評価ツールへの期待	嚥下医学 4(2): 178- 181, 2015.
179	小野高裕	包括歯科補綴学分野	口腔機能評価のための機器開発	日本抗加齢医学 学会雑誌 11(2): 46-52, 2015.
180	堀田哲夫, 橋本 章、水野聖人、秦 睦美	手術部	レベル4不織布のバリア性に関する研究	手術医学 2015 36:12-18
181	堀田哲夫	手術部	手術件数増加に伴う課題 - 手術の質を上げる運用について -	手術医学 2015 34: 392-397.
182	渡部達範、吉永清宏、鈴木雄太郎、染矢俊幸、馬場洋	麻酔科学分野	痙攣の誘発にレミフェンタニルの併用が有効であった修正電気痙攣療法の1例	麻酔 2015;63(8): 866 -871
183	奥村暢旦、石崎裕子、伊藤晴江、中村太、塩見晶、中島貴子、藤井規孝	歯科総合診療部	歯科臨床技術教育における動画教材の効果	日本歯科医学 教育学会雑誌

小計7件
合計183件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
・ 規定の主な内容 産学官連携活動を含む社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の産学官連携活動等の推進を図る。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 外部から講師を招へいし、院内職員を対象に「「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」改正のポイントと臨床研究のモニタリングに関する各種検討会の議論」と題した講演会を実施した。	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の関連医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、関連医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

2 研修の実績

研修医の人数	87人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
南野 徹	循環器内科	教授	26年	
曾根 博仁	内分泌・代謝内科	教授	25年	
	血液内科		年	
成田 一衛	腎・膠原病内科	教授	32年	
菊池 利明	呼吸器・感染症内科	教授	25年	
	心療内科		年	
寺井 崇二	消化器内科	教授	25年	
	肝胆膵内科		年	
小野寺 理	神経内科	教授	28年	
西條 康夫	腫瘍内科	教授	31年	
染矢 俊幸	精神科	教授	32年	
齋藤 昭彦	小児科	教授	24年	
若井 俊文	消化器外科	教授	23年	
	乳腺・内分泌外科		年	
土田 正則	心臓血管外科	教授	30年	
	呼吸器外科		年	
遠藤 直人	整形外科	教授	35年	
松田 健	形成・美容外科	教授	19年	
窪田 正幸	小児外科	教授	36年	
藤井 幸彦	脳神経外科	教授	32年	
阿部 理一郎	皮膚科	教授	21年	
富田 善彦	泌尿器科	教授	30年	
福地 健郎	眼科	教授	30年	
堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	26年	
榎本 隆之	産科婦人科	教授	32年	
青山 英史	放射線治療科	教授	21年	
	放射線診断科			
馬場 洋	麻酔科	教授	27年	
遠藤 裕	高次救命災害治療センター	教授	36年	
遠藤 直人	総合リハビリテーション	教授	35年	
味岡 洋一	病理部	教授	31年	
成田 一衛	血液浄化療法部	教授	32年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容，研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して別紙「平成27年度キャリア開発支援計画研修」を参照。（対象研修：専門領域シリーズ等）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容，研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して別紙「平成27年度キャリア開発支援計画研修」を参照。（対象研修：基礎研修及び役割研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

Table with 6 columns: 研修名, 受講対象者, ねらい, 講師・研修担当, 開催年月日, 参加人数. It lists various training programs such as '新採用者オリエンテーション', '基礎研修', '役割研修', '専門領域シリーズ', and 'テーマ別研修' with their respective details.

*日程は変更になる可能性があります。今後のお知らせをご確認ください。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 吉澤初記	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, フィルム管理室, 電算機室	※外来, 入院とも一部電子媒体 ・外来… 1 患者 1 カルテ番号方式 ・入院… 1 患者 1 入院につき 1 カルテ番号方式 ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており、やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保健推進部	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	事務部（予定）
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	事務部（予定）
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	事務部（予定）
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一		
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 江口正樹		
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室		
閲覧の手続の概要			
様式第5の保管場所・管理方法による。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 安全管理に関する基本的な考え方2 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本的事項3 安全管理のための職員研修に関する基本方針4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針7 患者からの相談への対応に関する基本方針8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (☑・無)・ 開催状況：年 12回・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 アクシデントの発生防止対策に関する事2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関する事3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関する事4 その他医療安全の推進に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 「本院における医療安全管理の現状と今後の展望」2 「笑いの現場から学ぶ！最強医療コミュニケーション『なんでやねん力』」3 「院内暴力対応訓練」「職員の暴力回避トレーニング」4 「本院の医療安全管理について」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集・ 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討・ インシデント及びアクシデント事例の医療安全推進委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備・ 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討・ 医療事例審議委員会、（調査専門委員会）における事例分析、再発防止の検討、他	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染に関する基本的な考え方2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針7. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること・ 院内感染の予防対策に関すること・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること・ その他院内感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 「全職員で考える抗微生物薬の適正使用と感染管理 -有効な抗微生物薬を次世代に受け渡すために-2 「感染制御における最近の動向」3 「当院の感染管理体制」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 耐性菌, 人工呼吸器関連肺炎, 中心ライン関連ライン血流感染, 消化器外科及び心臓血管外科 SSI, 手指消毒薬の払い出し状況, 抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施 (情報の共有と改善のためのディスカッション, 環境チェック)・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し, 迅速な感染防止対策を実施・ 院内感染対策基本マニュアルの作成および改訂・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は, 直接的な主治医とのディスカッション・ TDM検討会 (全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供)・ 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 「医薬品の安全管理」 平成27年4月23日、30日；講義（両日、同一の内容） ⇒ 上記のDVD映像の視聴：5月12～16日、12月14～18日 「麻薬の取扱いについて」 平成27年4月7日、5月8日、6月5日、7月8日、8月5日、9月1日、10月1日、11月5日、12月8日、 平成28年1月7日、2月9日、3月4日；講義（全日、同一の内容） ⇒ 上記のDVD映像の視聴：平成27年8月7日、9月7日、12月10日、平成28年3月1日、3月7日、3月10日	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容： 平成27年4月、手順書の一部を改訂。 第5、ならびに第7に注射と与薬を「医療スタッフマニュアル」に則り追記、改正。その他、記載内容一部改正。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">採用薬剤適正使用情報 (Vol. 55～Vol. 59) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 21 No. 3 「カリウムの最終濃度、投与速度に注意しましょう」平成27年5月 No. 4 「子どもによる医薬品の誤飲事故に注意!!」平成27年7月 No. 5 「薬の量が変わる？身長・体重に注意!」平成27年9月 No. 6 「高齢者の誤飲、誤食事故にPTP包装シート？」平成27年11月 Vol. 22 No. 1 「ポリカーボネート (PC) 製医療用具の注意点」平成28年1月 No. 2 「針を輸液ゴム栓に刺す場合、注意!!」平成28年3月	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 63 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明・ 人工呼吸器の安全使用説明・ 除細動装置の取扱い・ 閉鎖式保育器の安全使用・ 透析装置の取扱い説明・ 電気メスの取扱い・ 麻酔器の取扱い・ 手術用内視鏡システムの取扱い・ 内視鏡スコープの取扱い・ 超音波吸引装置の取扱い・ 超音波手術装置の取扱い・ シーリングシステムの取扱い・ 光干渉断層法(OCT)の取扱い・ バイタルモニタの取扱い・ 腹腔鏡下手術シミュレーターの取扱い・ 硝子体手術装置の取扱い・ 眼科用冷凍手術装置の取扱い・ 植込み型除細動器の取扱い・ 3D内視鏡システムの取扱い・ 体外式ペースメーカーの取扱い・ 手術用ナビゲーションユニットの取扱い・ IRI内視鏡の取扱い・ 一酸化窒素ガス管理システムの取扱い・ ロータブレードの取扱い	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有)・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器(人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置、麻酔器、眼内内視鏡、歯科ユニット、高気圧酸素、ダヴィンチ)に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会(委員長:医療機器安全管理責任者)にて評価を受ける。</p> <p>※ 保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ 未承認・適応外使用等の医療機器の使用に関して：</p> <p>病院長を委員長とした“病院臨床倫理検討委員会”にて、検討を行うことになっている。また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。</p> <p>・ その他の医療機器の安全使用を目的とした方策の実施状況に関して：</p> <p>厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知、並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報を収集し、医療機器に携わる者へ、文章告知および院内webサーバーに掲載し、院内に情報を周知している。</p>	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況<ul style="list-style-type: none">・医療安全管理部長として院内の医療安全に関する管理部門に所属し統括・医療の安全管理体制の確保及び推進のための医療安全推進委員会及び重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療事例審議委員会の構成員並びに運営・医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務及び医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務に関し、取り決めを行う各専門部会の構成員となり統括	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑ (3名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況<ul style="list-style-type: none">・薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告・薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知・全部署のリスクマネジャーが出席するリスクマネジャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネジャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況<ul style="list-style-type: none">・薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握・未承認等の医薬品の使用について審査する委員会承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案・薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有・担当者の指名の有無（☑・無）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（☑・無）・規程の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： 診療録監査委員会内規に基づき、定期的な診療録監査の実施及び診療科へのフィードバック 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況 ※経過措置の適用により様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（ 3 ）名，専任（ 3 ）名，兼任（ 25 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名，専任（ ）名，兼任（ 14 ）名※歯科医師（兼任）3名含む うち薬剤師：専従（ ）名，専任（ 1 ）名，兼任（ 1 ）名 うち看護師：専従（ 2 ）名，専任（ 1 ）名，兼任（ 3 ）名 ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・専従の医師・看護師，専任の薬剤師は医療安全推進委員会の構成員 ・医療安全推進委員会に係る資料作成等の運営事務 ・管理者が認める事象（通常の経過では必要がない処置または治療が必要になった事例は，国立大学附属病院で定めたインシデント影響度分類でレベル3b以上相当の事例）発生時の診療録その他の診療に関する記録の確認，患者又はその家族への説明，当該事象の発生の原因の究明その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への必要な指導 ・医療に係る安全管理に係る連絡調整 ・医療に係る安全の確保のための対策の推進 ・医療に係る安全の確保に資する診療の情報の把握及び職員の医療に関する意識の向上の状況確認 ・歯科診療に関する医療安全に係る事象が発生した場合には，歯科医師が適切に関与できる体制 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には，専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況 ※経過措置の適用により様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照	
<ul style="list-style-type: none"> ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・☑ ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に，従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・☑ ） ・規程の主な内容： ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・☑ ） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・☑ ） 	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め，使用の適否等を決定する部門の状況 ※経過措置の適用	

により様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 規程の主な内容： ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） 					
⑨ 監査委員会の設置状況 ※経過措置の適用により様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照					有・ <input checked="" type="radio"/>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年 回 ・ 活動の主な内容： ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 委員名簿の公表の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・<input checked="" type="radio"/>） ・ 公表の方法： 					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 13 件（原病死，自然師は含まず。同じ内容事例は 1 件として計上）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって，通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 120 件（同じ内容事例は 1 件として計上）
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について，医療安全管理部でリストアップを行い，事例件数の報告及び事例検証を実施
 - ・平成 28 年 5 月より院内の入院患者における全死亡・死産症例について，主治医・担当医に報告することを義務化し，報告実施状況の確認及びその結果について報告
 - ・重大な事例が生じた場合，速やかに原因究明のための調査及び分析，分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知，方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ※経過措置の適用により様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況：
 - ・患者からの医療安全管理に係る相談等に対し，対応できるよう窓口を常設している。また，院内掲示により設置場所，担当者，責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲，情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）

<p>⑭ 職員研修の実施状況 ※経過措置の適用により様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>
<p>・研修の実施状況：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、今回の法令改定を踏まえた特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、Eラーニングを用いて学習効果を測定した。
<p>⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 ※経過措置の適用により様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>
<p>・研修の実施状況：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者は責任者として当該業務を適切に行うため、知識及び技術習得を目的に院外研修会に参加・受講している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・公益財団法人日本医療機能評価機構：平成26年12月更新認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・ 広報誌「和」を発行している（年2回程度）。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。また、診療担当医一覧を四半期ごとに作成し、県内全医療機関に送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・ 「医療連携口腔管理チーム」によって、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	

(様式第 8)

28 新大病医第 149 号
平成 28 年 9 月 8 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 (管理者) 鈴木 榮一 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 9 月 12 日付けで副病院長 (医療安全管理担当、医師) を医療安全管理責任者に任命し、病院長名で発令予定である。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品安全管理責任者は、10 月から、以下を適切に実施するため、医薬品情報管理室担当薬剤師及び病棟担当薬剤師等を担当薬剤師に指名し、業務を行わせ、必要に応じて医薬品安全管理責任者に報告させる。医薬品安全管理責任者は担当薬剤師からの報告を受け、必要に応じて業務手順書の見直しを行う。

- ① 薬剤部において、院内の医薬品の使用状況を月一回程度定期的に確認し、その結果を踏まえて添付文書情報 (禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者に報告する。また、必要に応じて、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知するとともに、必要な診療科等に周知されたか等については、リスクマネージャー全体会議においてこれらを周知し、部署からの周知報告書をもって確認を行う。
- ② 医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用 (以下、「未承認等の医薬品の使用」という。) に該当するか否かを把握するように努める。未承認等の医薬品の使用について審査する担当部門・委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等を確認する。また、事後に把握した適応外使用医薬品も処方の妥当性を確認するよう努める。これらの結果を踏まえ、処方した医師等に対し処方の変更等の提案を行うとともに、その結果を医薬品安全管理責任者に報告する。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

平成28年9月12日付でインフォームド・コンセント検討委員会委員の中から医療を受ける者に対する説明に関する責任者を任命し、病院長名で発令予定である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

本院の規程「新潟大学医歯学総合病院インフォームド・コンセント検討委員会内規」において、業務説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他の説明の実施に必要な方法に関すること等は、同委員会で決定することと規定している。

同委員会において、業務説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他の説明の実施に必要な方法に関する事項として、「インフォームド・コンセントに関する指針（平成14年9月作成、最終更新平成28年8月）」を定めている。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

平成28年9月12日付で診療録監査委員会委員の中から診療録等の管理に関する責任者を任命し、病院長名で発令予定である。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

入院・外来を含めすべての院内死亡事例は、以前から医療安全管理部門で把握する体制を構築していた。本年5月から入院患者が死亡した場合には、全例すみやかに主治医・担当医が医療安全管理部門に死亡の事実と死亡前の状況を報告することを定めた。報告実績は院内の各種委員会（委員長：病院長）で、報告しており、医療安全管理部への報告が不十分な場合、診療科には注意勧告している。通常の経過では必要がない処置または治療が必要になった事例は、国立大学附属病院で定めたインシデント影響度分類でレベル3b以上相当の事例と定め、死亡事例と同様に報告状況を逐次病院長や各種委員会で報告している。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

新潟大学で定めている公益通報制度に則り、新潟大学監査室を窓口にすることとしている。9月中に使用方法について職員に向け周知することとしている。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

医療安全推進委員会でいくつかの指標・インディケーター（周術期肺血栓塞栓症、入院患者の転倒・転落、など）を設定し、平時から継続的にモニタリング、その数値を踏まえて改善に取り組んでいる。

また、全職員が受講する医療安全に関する研修の受講状況を確認し、すべての職員が必ず研修を受講するように指導し、全職員の受講を確認している。研修後の職員の医療の安全に関する意識の向上は、Eラーニングを用いた小テストや、院内の部署が相互に現場で行うチェックなどによって定期的に確認している。モニタリング結果を受けて、研修内容を再検討している。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療法施行規則及び医政局長通知に基づき、新たな部門及び評価委員会の設置、規程の整備等を準備中である。平成28年12月の院内会議において、関係規程（担当部門にかかる規程）を制定し、病院内での準備を経て、平成29年4月から施行する予定である。

（現在は病院長を委員長とする委員会で適否を審議した上で、当該医療行為を実施しているが、法令及び通知に基づき体制を見直す）

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

医療法施行規則及び医政局長通知に基づき、新たな部門及び評価委員会の設置、規程の整備等を準備中である。平成28年12月の院内会議において、関係規程（従業員が遵守すべき事項及び部門が確認すべき事項等を定めた規程）を制定し、病院内での準備を経て、平成29年4月から施行する予定である。

（現在は病院長を委員長とする委員会で適否を審議した上で、当該医療行為を実施しているが、法令及び通知に基づき体制を見直す）

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療法施行規則及び医政局長通知に基づき、新たな部門及び評価委員会の設置、規程の整備等を準備中である。平成28年12月の院内会議において、関係規程（担当部門にかかる規程）を制定し、病院内での準備を経て、平成29年4月から施行する予定である。

(現在は病院長を委員長とする委員会で適否を審議した上で、当該医療行為を実施しているが、法令及び通知に基づき体制を見直す)

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

医療法施行規則及び医政局長通知に基づき、新たな部門及び評価委員会の設置、規程の整備等を準備中である。平成 28 年 12 月の院内会議において、関係規程（従業者が遵守すべき事項及び部門が確認すべき事項等を定めた規程）を制定し、病院内での準備を経て、平成 29 年 4 月から施行する予定である。

(現在は病院長を委員長とする委員会で適否を審議した上で、当該医療行為を実施しているが、法令及び通知に基づき体制を見直す)

13. 監査委員会を設置するための予定措置

平成 29 年 3 月末を目途に、学長のもとに監査委員会を設置することとして事務局と協議しているところである。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、今回の法令改定を踏まえた特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、E ラーニングを用いて学習効果を測定した。

なお、監査委員会からの意見に関する事項については、委員会開催以降の研修会の内容に含めていく予定である。全職員を対象とした研修会は年 2 回実施している（平成 28 年度は 4 月と 6 月開催）。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

研修の内容について発出される通知に基づき、研修を受けることとしている。
また、管理者は、国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に来年度から参加予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（3）名、兼任（25）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（14）名※歯科医師（兼任）3名含む
 - うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（1）名
 - うち看護師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（3）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師、看護師の専従職員は配置済みであるが、薬剤師については、平成30年3月31日まで間、専任（5割以上従事）職員を1名配置し、平成30年4月以降平成32年3月31日までの間、8割以上従事する専従薬剤師1名もしくは5割以上従事する薬剤師2名を配置し、平成32年4月には専従薬剤師を配置する。